



MFX-C3690N/C3090N/C2590N

ユーザーズガイド

トラブルシューティング編

もくじ

本書について もくじ-4

1 紙づまり／針づまりが発生したとき

1.1	紙づまり／針づまり発生時の画面について	1-2
1.2	紙づまり／針づまりが発生したときは.....	1-4
1.3	紙づまりが発生したとき	1-5
1.3.1	ADFで紙づまりが発生した場合	1-5
	bizhub C658/C558/C458の場合	1-5
	MFX-C3690N/C3090N/C2590N: 自動両面原稿送り装置の場合	1-6
	MFX-C3690N/C3090N/C2590N: 自動両面同時読取り原稿送り装置の場合	1-7
1.3.2	右ドア部で紙づまりが発生した場合.....	1-8
1.3.3	給紙トレイで紙づまりが発生した場合.....	1-10
1.3.4	大容量給紙ユニットで紙づまりが発生した場合	1-12
1.3.5	フロアフィニッシャー／中とじ機付フロアフィニッシャーで紙づまりが発生した場合	1-13
1.3.6	インナーフィニッシャーで紙づまりが発生した場合	1-15
1.3.7	ジョブセパレーターで紙づまりが発生した場合	1-16
1.4	針づまりが発生したとき	1-17
1.4.1	フロアフィニッシャー／中とじ機付フロアフィニッシャーで針づまりが発生した場合	1-17
1.4.2	中とじ機付フロアフィニッシャーの中とじ機で針づまりが発生した場合	1-18
1.4.3	インナーフィニッシャーで針づまりが発生した場合	1-19

2 おもなメッセージと処理のしかた

2.1	消耗品交換や清掃メンテナンスのメッセージが表示されたとき.....	2-2
2.2	紙づまりメッセージが消えないとき.....	2-3
2.3	トラブルメッセージが表示されたとき.....	2-4
2.4	〔画像安定化処理中です。〕と表示されたとき	2-5

3 印刷の品質が低下したとき

3.1	プリントヘッド窓の清掃のしかた.....	3-2
-----	----------------------	-----

4 電源が入らないとき

5 タッチパネルが表示されないとき

6 プリントできない

6.1	プリントできない	6-2
6.2	おもなメッセージと処理のしかた.....	6-7
6.3	テスト印刷を行う	6-8
6.4	ボックスからファイルを印刷する.....	6-9
6.5	プリンタードライバーの暗号化ワードを設定する	6-10
6.6	プリンタードライバーでユーザー認証／部門管理を有効にする.....	6-11
6.7	パブリックユーザーのプリントを許可する	6-12



7	ネットワークファクス/ネットワークスキャンできない	
7.1	ネットワークファクス/ネットワークスキャンできない.....	7-2
7.2	ネットワークファクスエラーコード表.....	7-4
	送信系エラーコード.....	7-4
	受信系エラーコード.....	7-5
7.3	宛先リストを印刷する.....	7-6
8	ファクスできない	
8.1	ファクス送信できない.....	8-2
8.2	ファクス受信できない.....	8-3
8.3	G3ファクスエラーコード表.....	8-5
	送信系エラーコード.....	8-5
	受信系エラーコード.....	8-6
8.4	おもなメッセージと処理のしかた.....	8-7
8.5	[ダイアル方式]を設定する.....	8-8
8.6	[宛先確認送信]を設定する.....	8-9
8.7	着信回数を設定する.....	8-10
9	コピーできない	
9.1	コピーできない.....	9-2
9.2	おもなメッセージと処理のしかた.....	9-4
10	ボックス保存できない	
10.1	ボックス保存できない.....	10-2
10.2	おもなメッセージと処理のしかた.....	10-3
10.3	ボックスのファイルを削除する.....	10-4
11	ユーザー認証できない	
11.1	サーバー認証できない.....	11-2
12	ネットワークエラーコード	
12.1	ネットワークエラーコードとは.....	12-2
12.2	ネットワークエラーコードを表示するには.....	12-3
12.3	エラーコードリスト.....	12-4
	LAN (IEEE802.1X).....	12-4
	LDAP.....	12-4
	受信 (E-mail / インターネットファクス).....	12-7
	FTP 送信.....	12-8
	SMB 送信.....	12-8
	送信 (E-mail / インターネットファクス / IP アドレスファクス).....	12-10
	WebDAV 送信.....	12-13
	SMB ブラウジング.....	12-14
	ユーザー認証.....	12-16
	WebDAV クライアント / リモートパネル.....	12-16
	WebService スキャン.....	12-18
	分散スキャンサーバー送信.....	12-19
	シングルサインオン.....	12-19
	無線 LAN (WPS).....	12-20
13	サーバーとクライアント OS のビット数が違うとき	

14 消耗品交換や清掃メンテナンスの表示が出たとき

フィニッシャーのステープル針が無くなった場合	14-2
パンチくずがいっぱいになった場合.....	14-2
トナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなった場合	14-3
トナーカートリッジが交換時期に達した場合	14-3
ドラムユニットが交換時期に達した場合	14-4
現像ユニットが交換時期に達した場合.....	14-4
廃棄トナーボックスがいっぱいになった場合	14-5

本書について

本書の説明は、以下のモデルを対象としています。

MFX-C3690N/C3090N/C2590N

(ただし、本書には bizhub C658/C558/C458 の説明が一部含まれています。)

1

紙づまり／針づまりが発生した
とき

1 紙づまり／針づまりが発生したとき

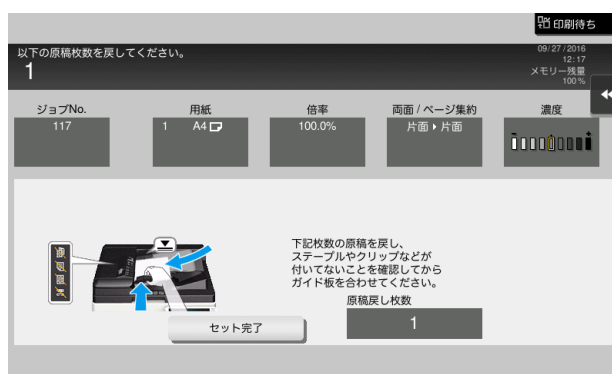
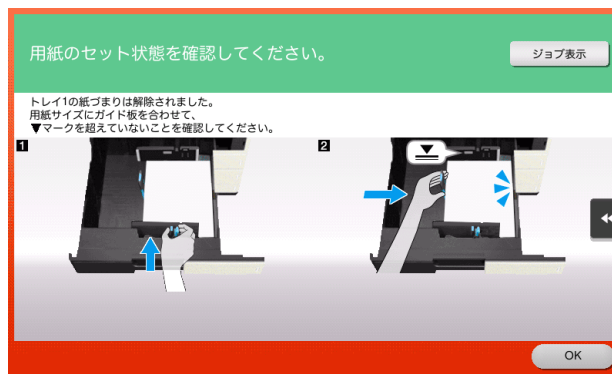
1.1 紙づまり／針づまり発生時の画面について

本機で紙づまり／針づまりが発生すると、紙づまりの解除手順や、紙づまり／針づまりの発生位置が、タッチパネルに表示されます。紙づまり／針づまりが発生した場合は、タッチパネルで解除手順や発生位置を確認し、ガイダンスに従って処理を行ってください。

紙づまり処理が確実に行われていない場合は、[紙づまりが発生しました。表示に従って、用紙を取り除いてください。詳しい方法は、ガイダンスで確認できます。]の表示が消えません。再度、ガイダンスに従って用紙を取除いてください。



紙づまりの処理が完了すると、用紙または原稿の正しいセット方法を説明する画面が表示されます。



原稿または用紙を戻し、[OK] または [セット完了] をタップすると、原稿の読み込みまたは印刷を再開します。

項目	説明
[ガイダンススタート]	このキーをタップすると、紙づまり／針づまり処理手順のガイダンスが始まります。
[表示切替]	紙づまりの解除手順を示す画面と、紙づまりの発生位置を示す画面の表示を切替えます。
数字 (紙づまり／針づまり位置番号表示)	紙づまり／針づまり位置の番号が一覧で表示されます。

🔗 関連設定

- 紙づまりが発生したときに、紙づまりの解除手順をタッチパネルに表示するかどうかを設定できます (初期値: [表示する])。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。

1.2 紙づまり／針づまりが発生したときは

紙づまりが発生したときは、次のページを参照して処理を行ってください。

- ADF の場合は、1-5 ページをごらんください。
- 右ドア部の場合は、1-8 ページをごらんください。
- 給紙トレイの場合は、1-10 ページをごらんください。
- 大容量給紙ユニットの場合は、1-12 ページをごらんください。
- フロアフィニッシャー / 中とじ機付フロアフィニッシャーの場合は、1-13 ページをごらんください。
- インナーフィニッシャーの場合は、1-15 ページをごらんください。
- ジョブセパレーターの場合は、1-16 ページをごらんください。

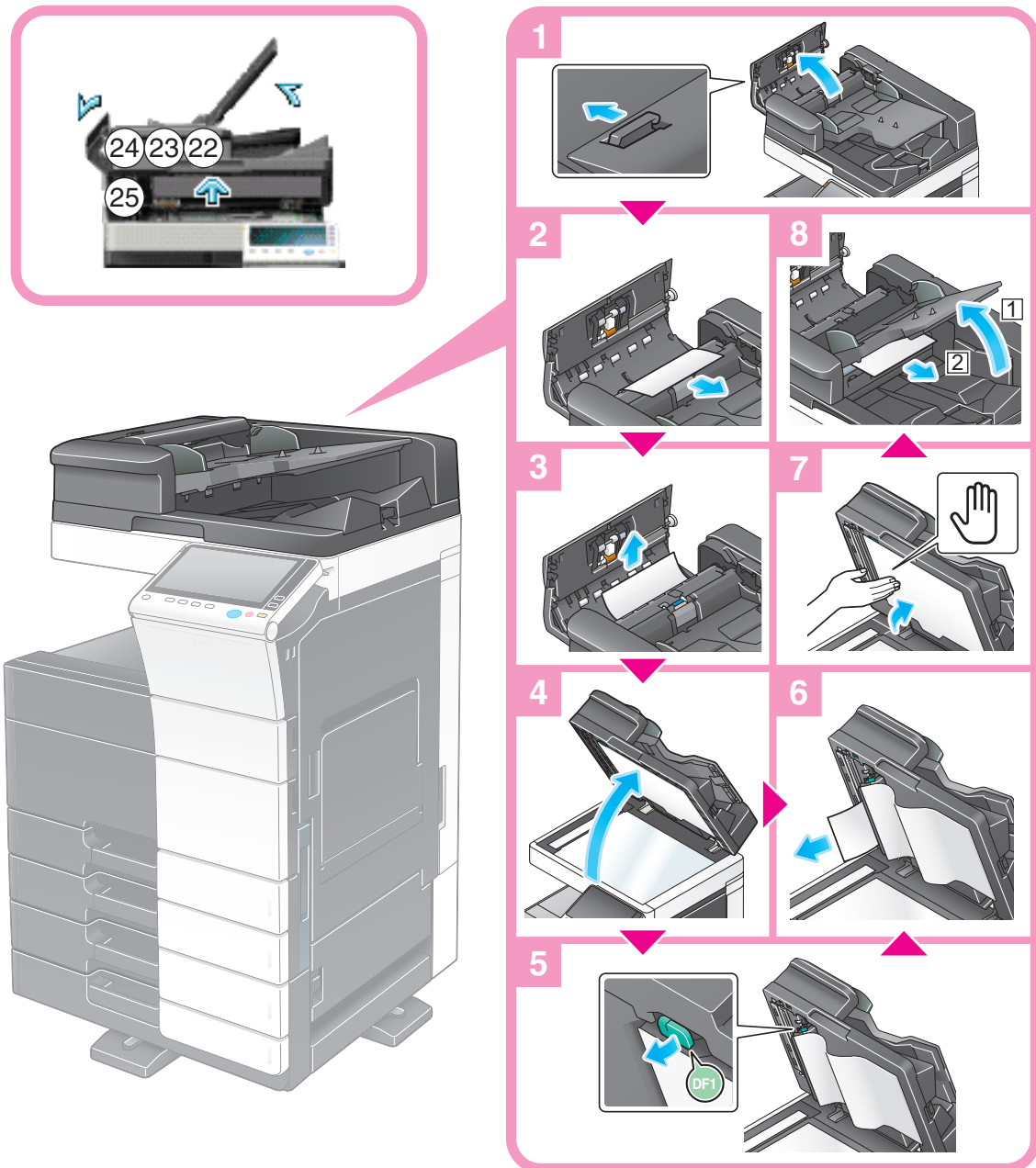
針づまりが発生したときは、次のページを参照して処理を行ってください。

- フロアフィニッシャー / 中とじ機付フロアフィニッシャーの場合は、1-17 ページをごらんください。
- 中とじ機付フロアフィニッシャーの中とじ機の場合は、1-18 ページをごらんください。
- インナーフィニッシャーの場合は、1-19 ページをごらんください。

1.3 紙づまりが発生したとき

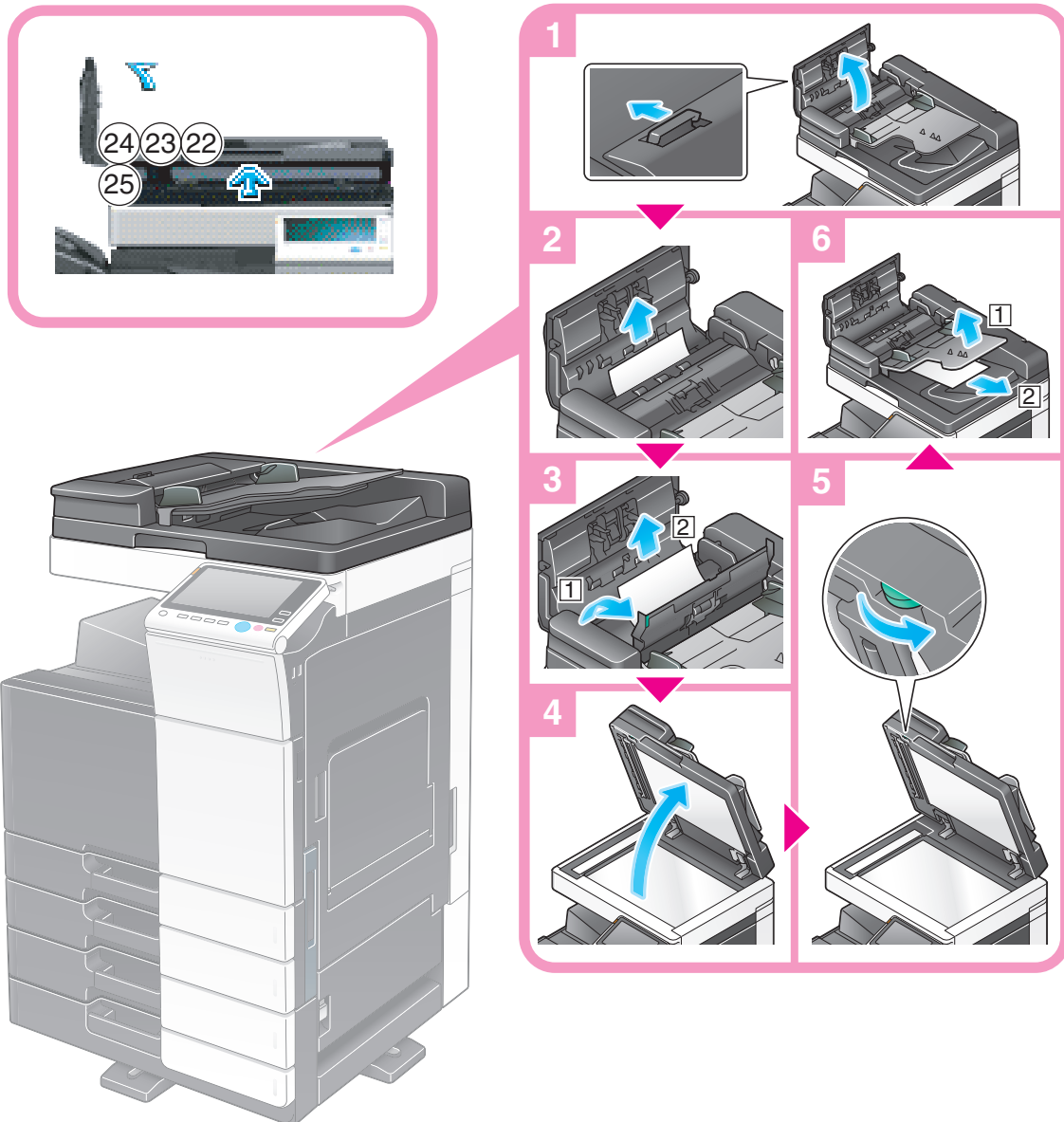
1.3.1 ADFで紙づまりが発生した場合

bizhub C658/C558/C458 の場合

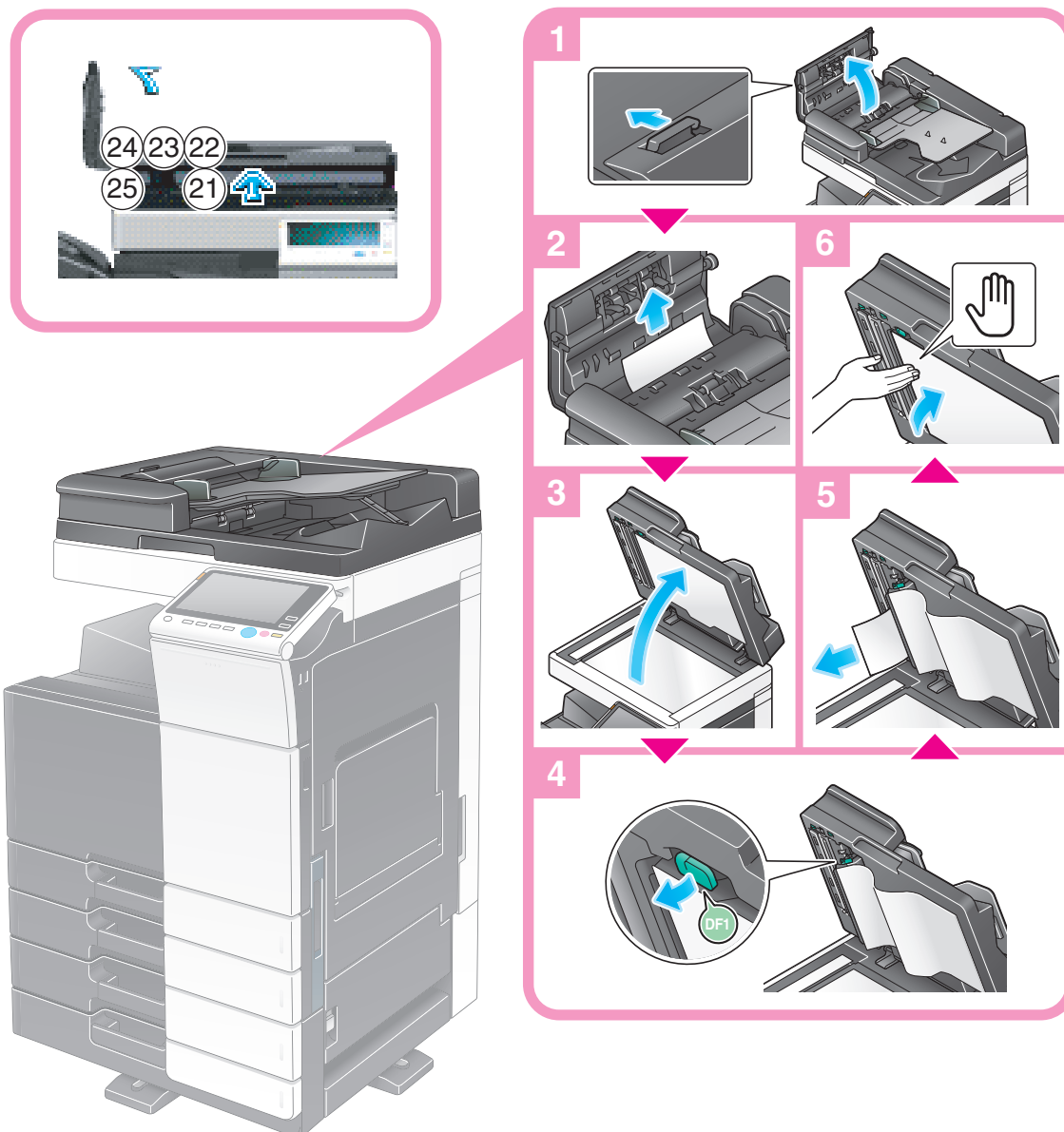
**重要**

開閉ガイドを閉じるときは、中央にある手のマークを押し、確実にロックされていることを確認してください。

MFX-C3690N/C3090N/C2590N: 自動両面原稿送り装置の場合

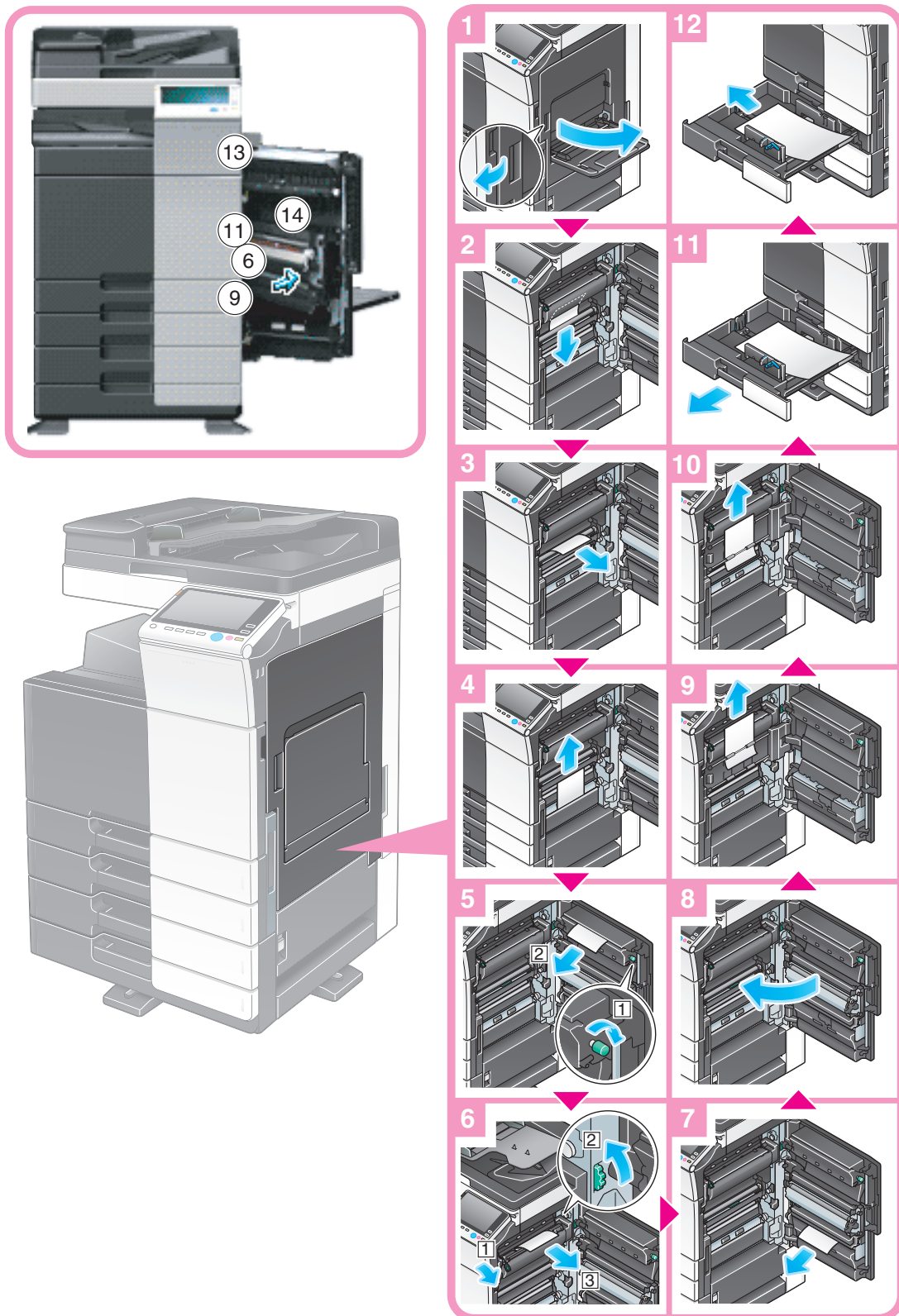


MFX-C3690N/C3090N/C2590N: 自動両面同時読取り原稿送り装置の場合

**重要**

開閉ガイドを閉じるときは、中央にある手のマークを押し、確実にロックされていることを確認してください。

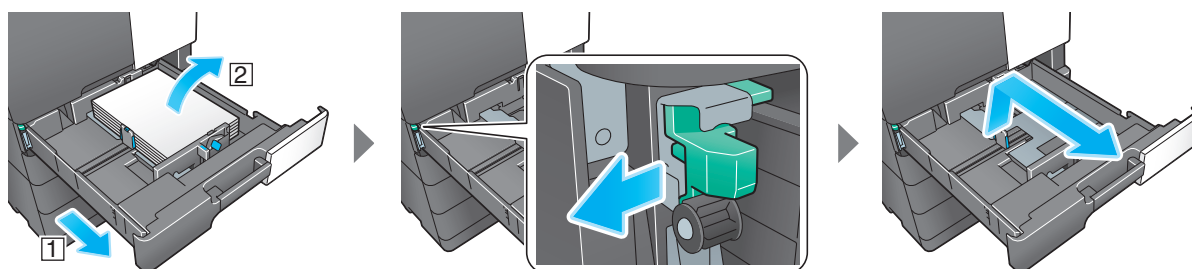
1.3.2 右ドア部で紙づまりが発生した場合


 参考

- 本図は MFX-C3690N/C3090N/C2590N です。紙づまりの処理手順は全機種共通です。

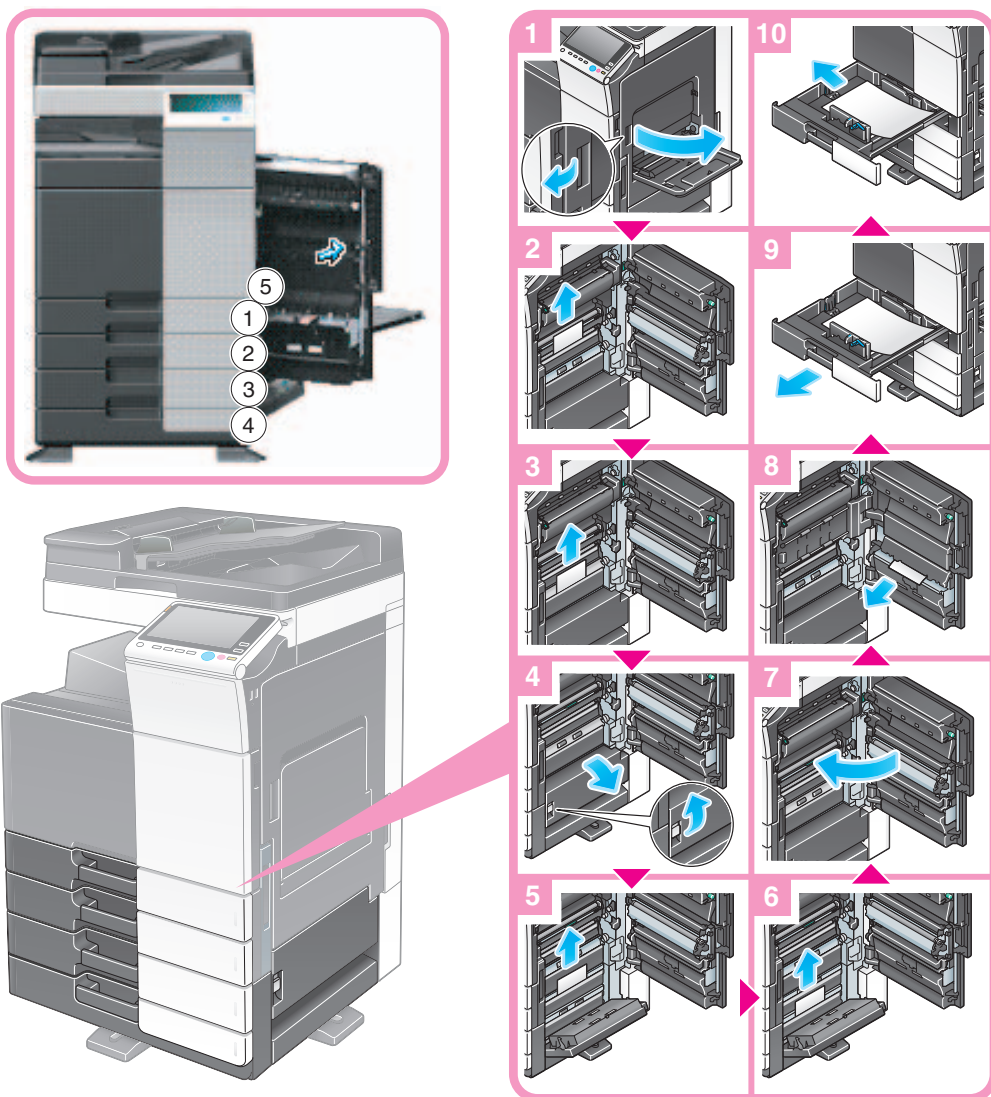
給紙トレイ（トレイ 1/2）内の紙片を取除く場合

図のようにロックを解除し、給紙トレイを引抜いてから、紙片を取除いてください。

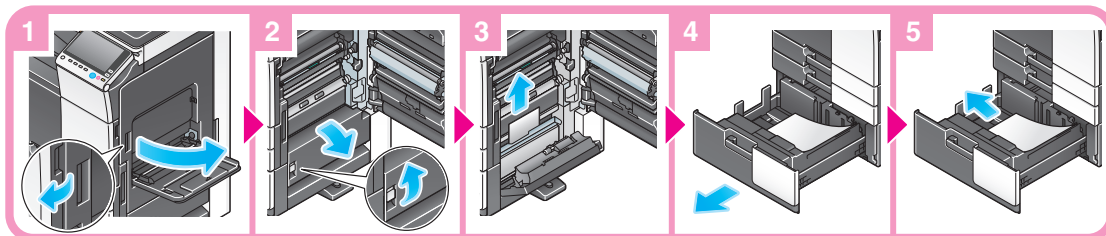
**⚠ 注意**

- 本製品の内部には、高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。やけどの原因となります。

1.3.3 給紙トレイで紙づまりが発生した場合



LCT(内蔵)

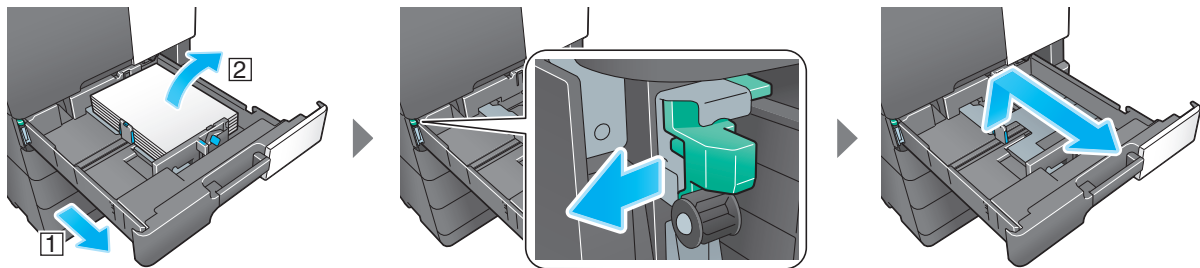


参考

- 本図は MFX-C3690N/C3090N/C2590N に 2 段給紙キャビネットを装着しています。紙づまりの処理手順は全機種共通です。

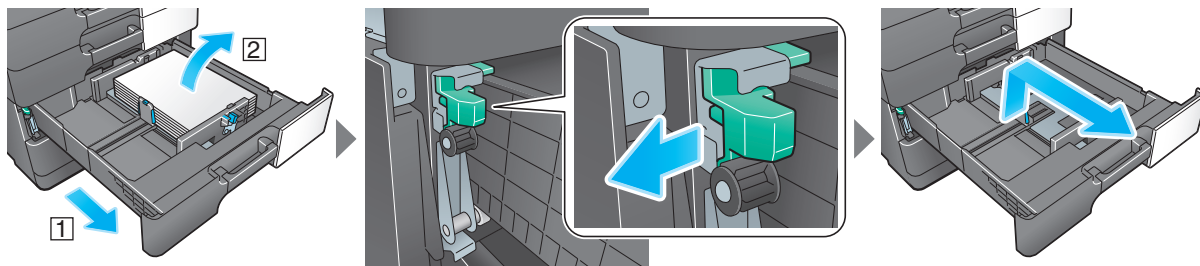
給紙トレイ（トレイ 1/2）内の紙片を取除く場合

図のようにロックを解除し、給紙トレイを引抜いてから、紙片を取除いてください。



給紙トレイ（トレイ 3/4）内の紙片を取除く場合（bizhub C658/C558/C458 のみ）

図のようにロックを解除し、給紙トレイを引抜いてから、紙片を取除いてください。

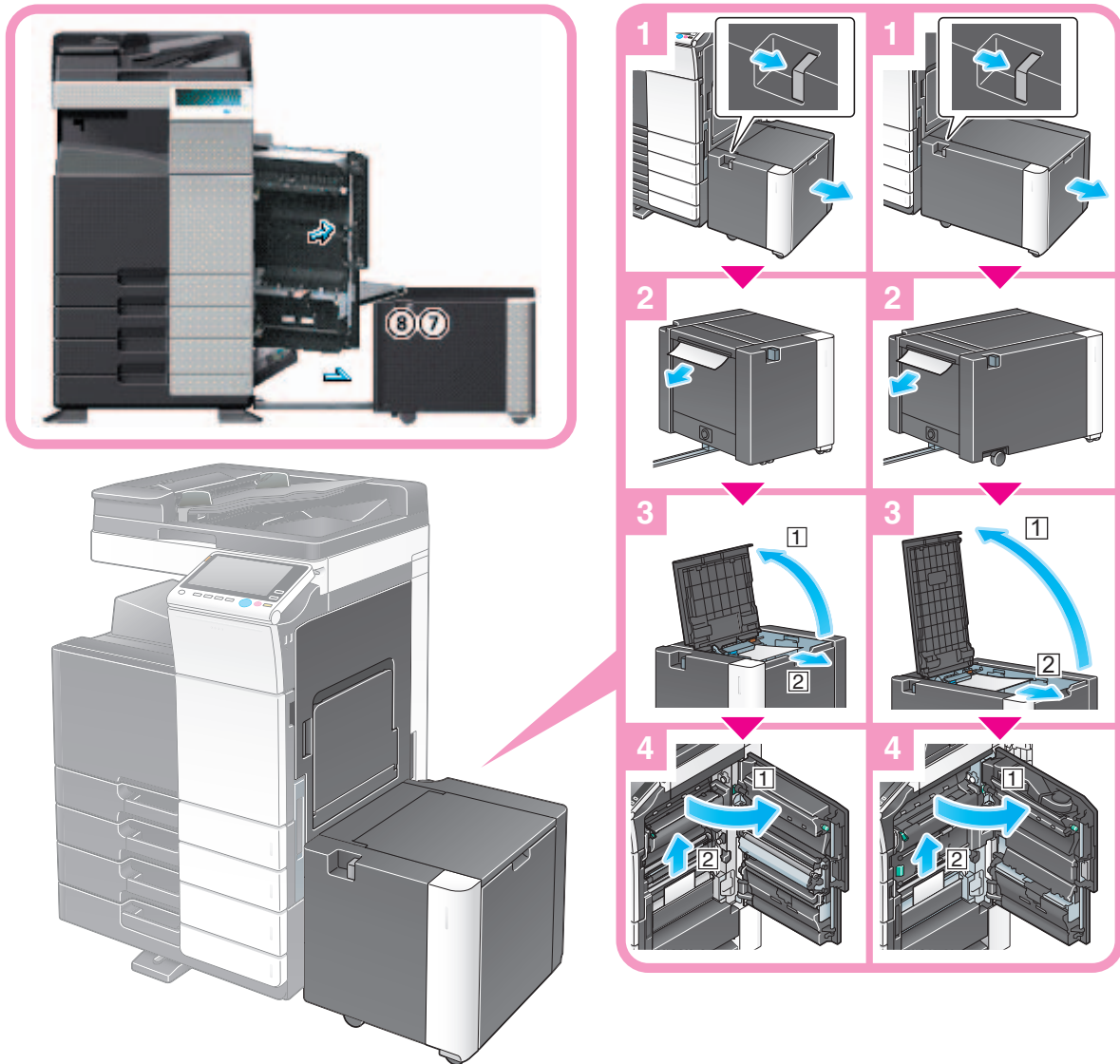
**重要**

搬送ローラーの表面には、手を触れないように注意してください。

△ 注意

- 本製品の内部には、高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。やけどの原因となります。

1.3.4 大容量給紙ユニットで紙づまりが発生した場合

**重要**

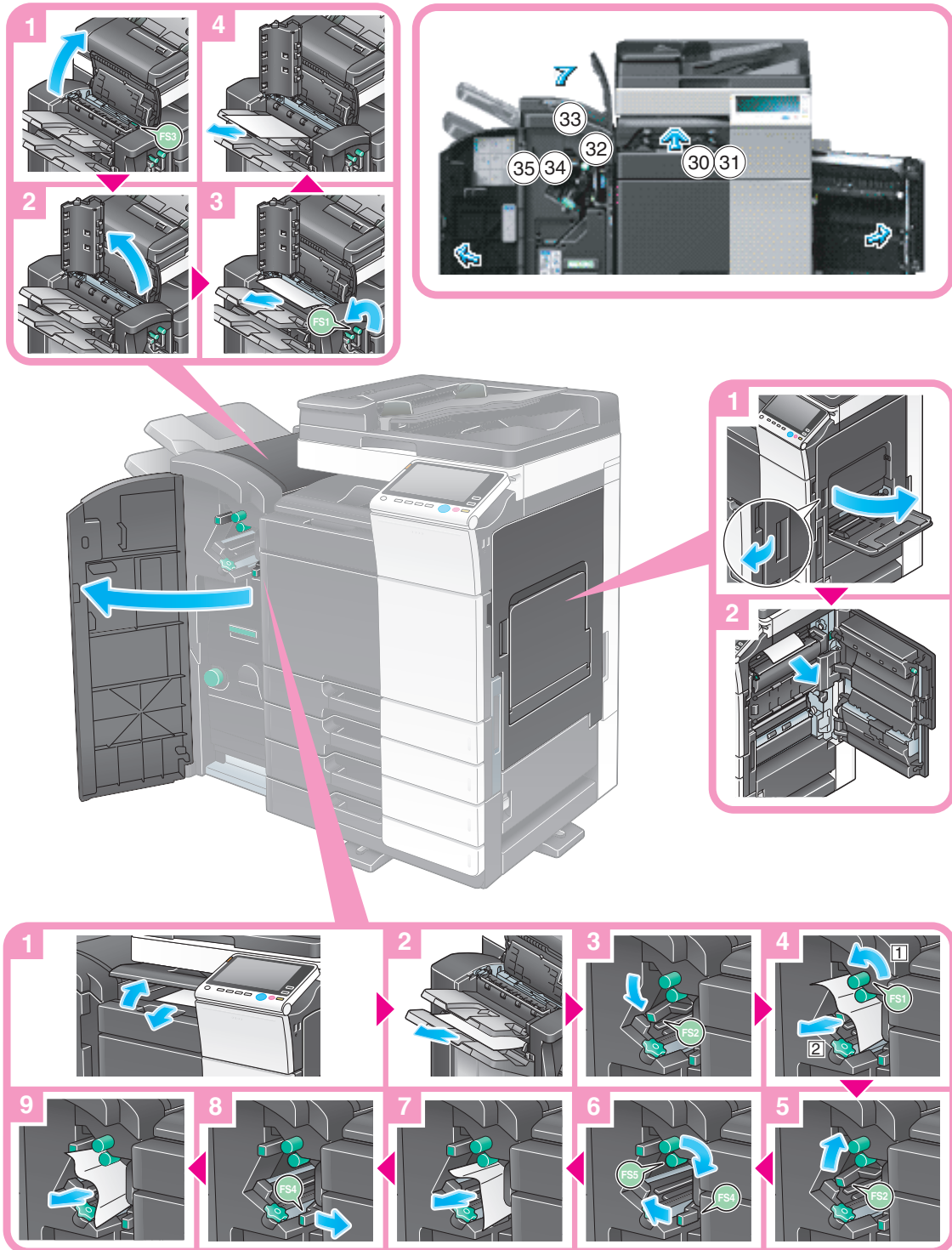
ローラーの表面には、手を触れないように注意してください。

⚠ 注意

- 本製品の内部には、高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。やけどの原因となります。

1.3.5 フロアフィニッシャー／中とじ機付フロアフィニッシャーで紙づまりが発生した場合

フィニッシャー内の紙づまり箇所は、[仕上り] の設定によって異なります。



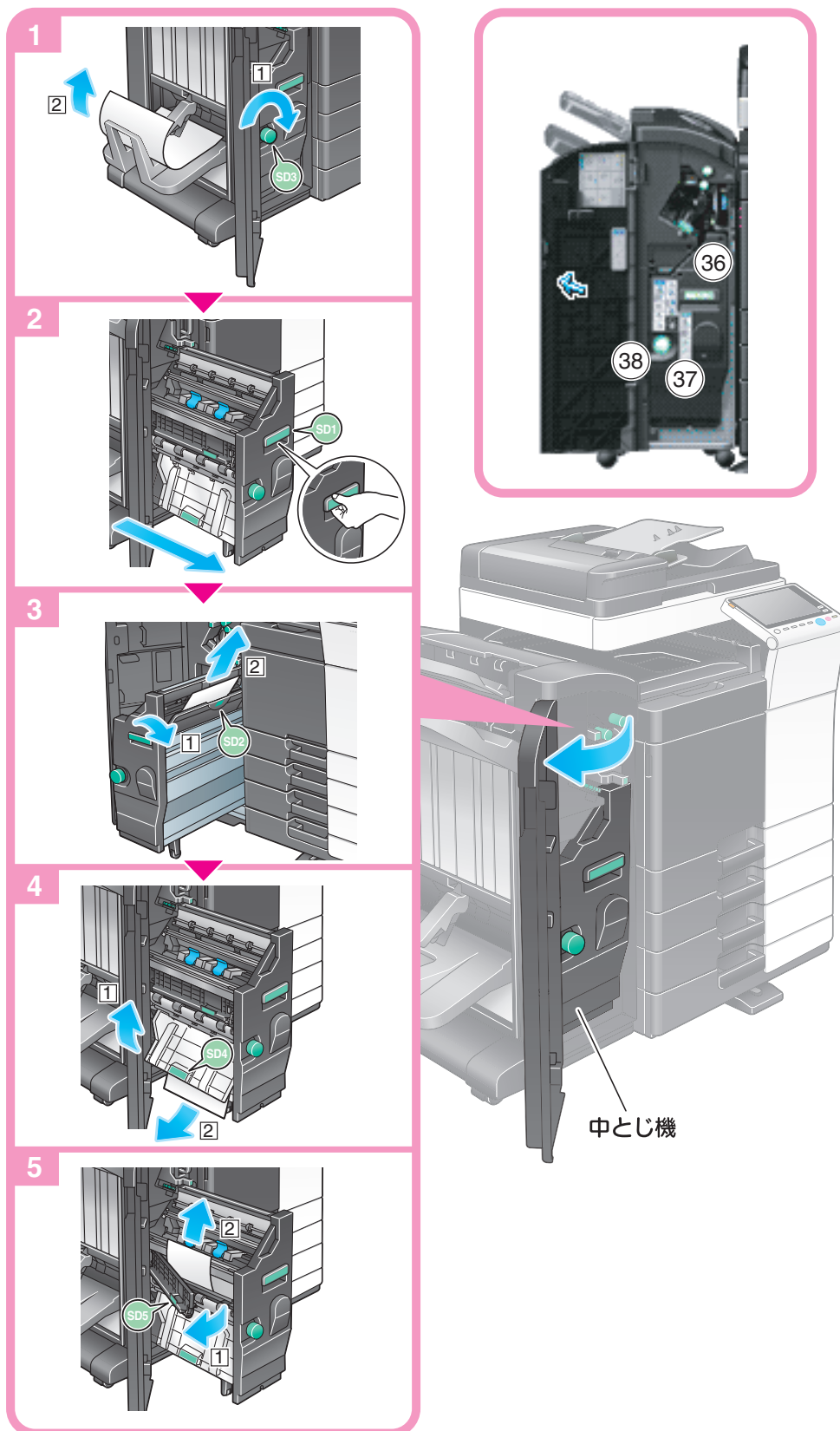
参考

- 本図は中とじ機付フロアフィニッシャーにパンチキット（フロアフィニッシャー用）、中継搬送ユニットを装着しています。

⚠ 注意

- 本製品の内部には、高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。やけどの原因となります。

フィニッシャー内の紙づまり箇所は、[仕上り] の設定によって異なります。



参考

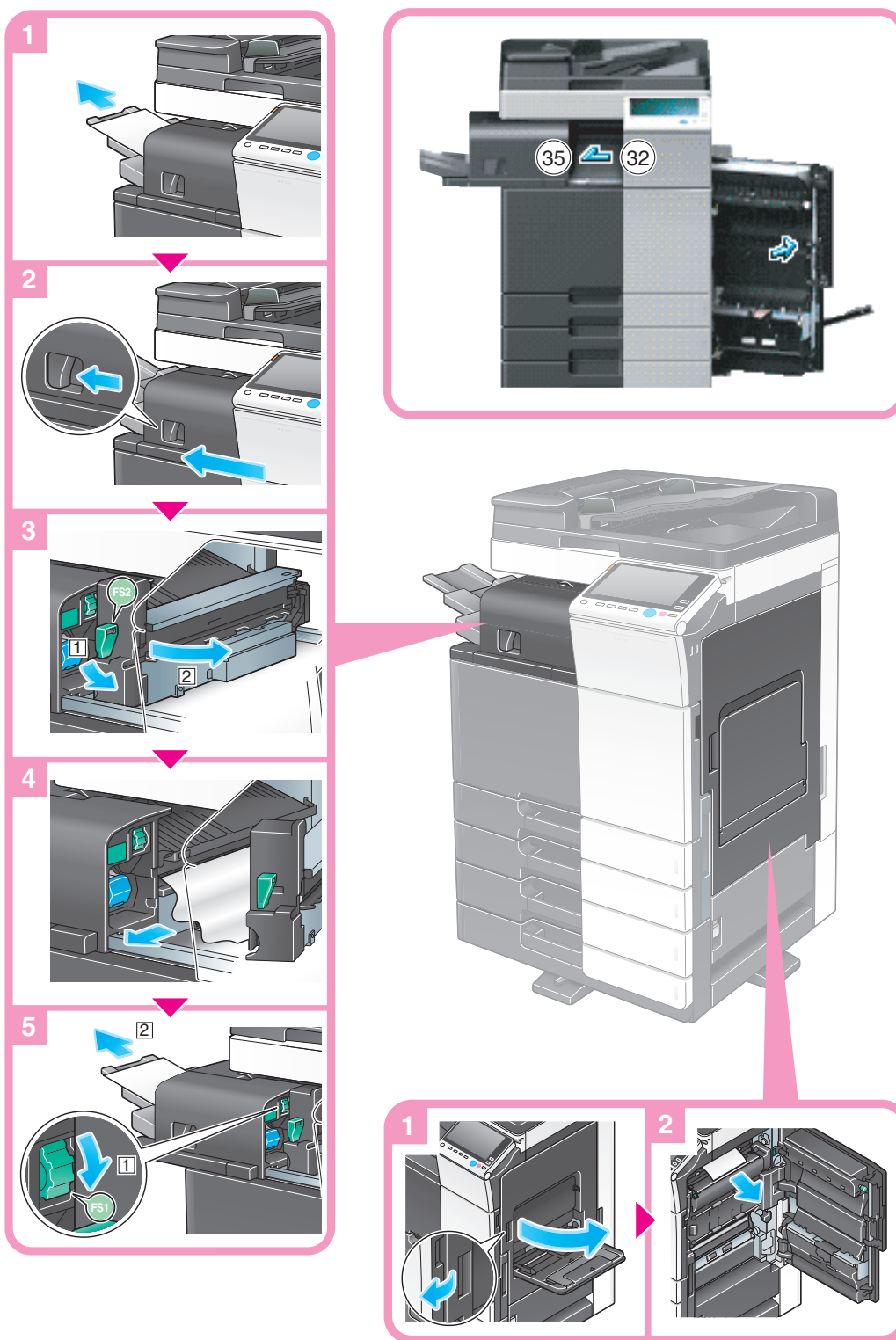
- 本図は中とじ機付フロアフィニッシャーにパンチキット（フロアフィニッシャー用）、中継搬送ユニットを装着しています。

重要

中とじ機を動かすときは、取っ手以外は持たないでください。手、指を挟みこむ恐れがあります。

1.3.6 インナーフィニッシャーで紙づまりが発生した場合

フィニッシャー内の紙づまり箇所は、[仕上り] の設定によって異なります。



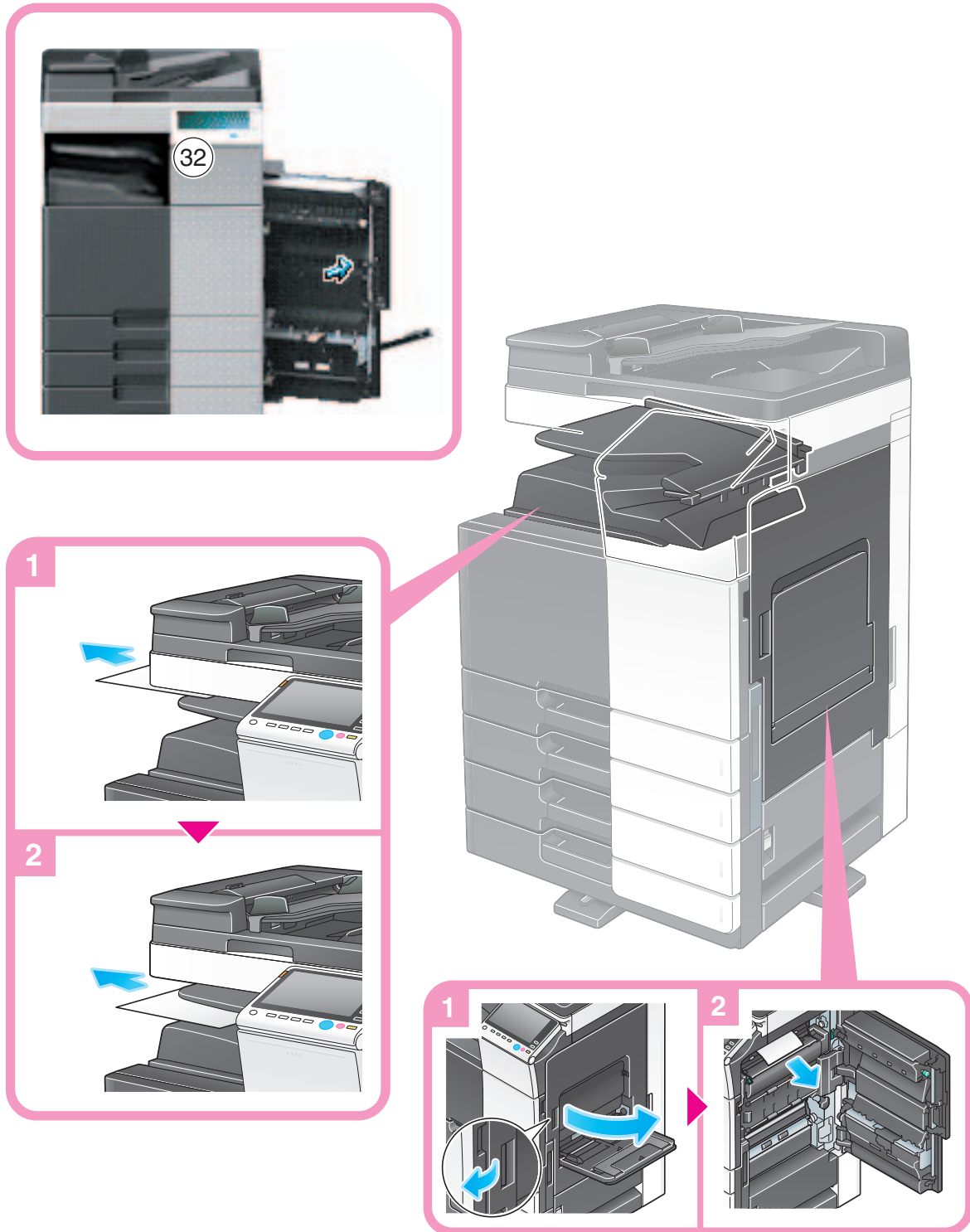
参考

- 本図はインナーフィニッシャーにパンチキット（インナーフィニッシャー用）を装着しています。

⚠ 注意

- 本製品の内部には、高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。やけどの原因となります。

1.3.7 ジョブセパレーターで紙づまりが発生した場合

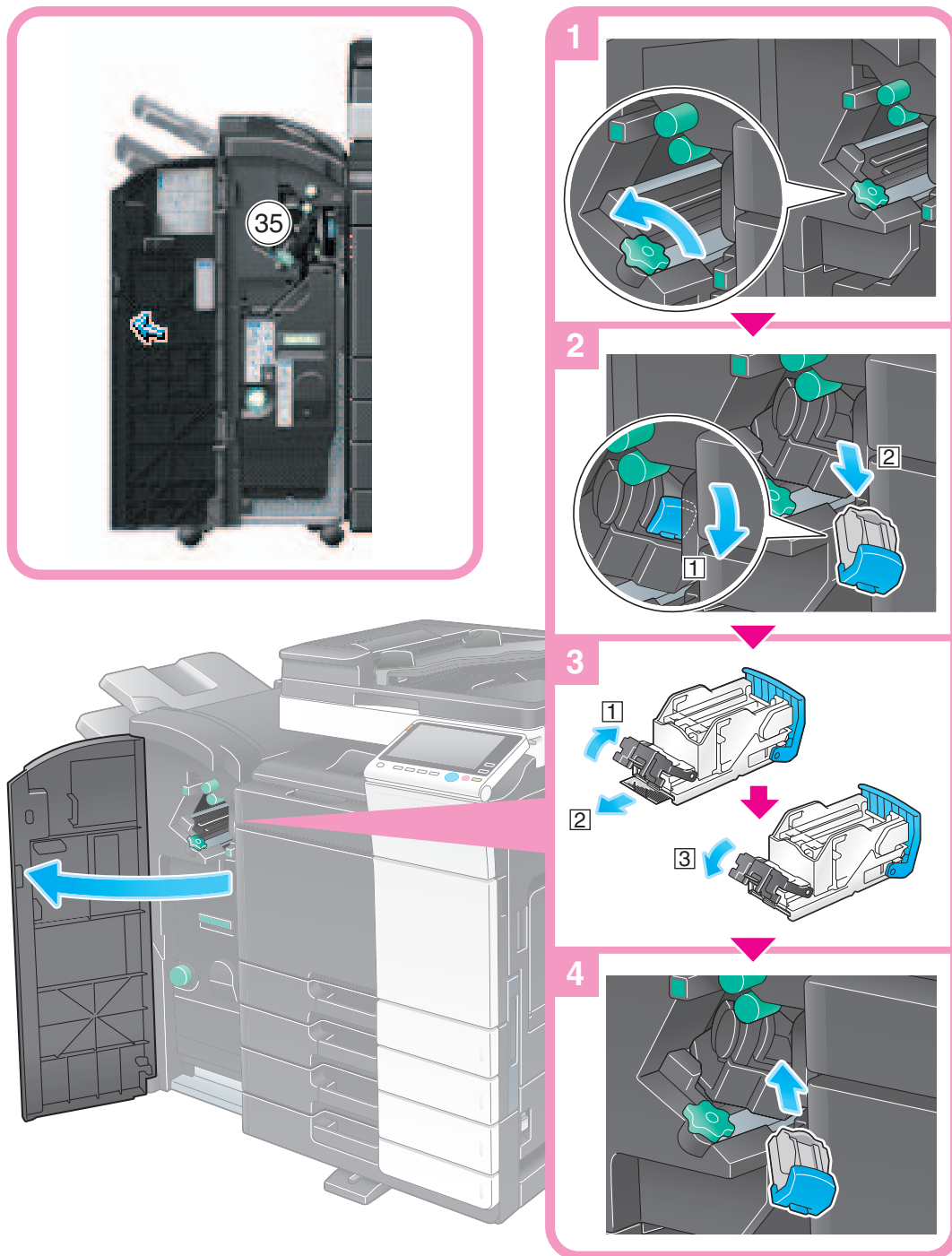


⚠ 注意

- 本製品の内部には、高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。やけどの原因となります。

1.4 針づまりが発生したとき

1.4.1 フロアフィニッシャー／中とじ機付フロアフィニッシャーで針づまりが発生した場合



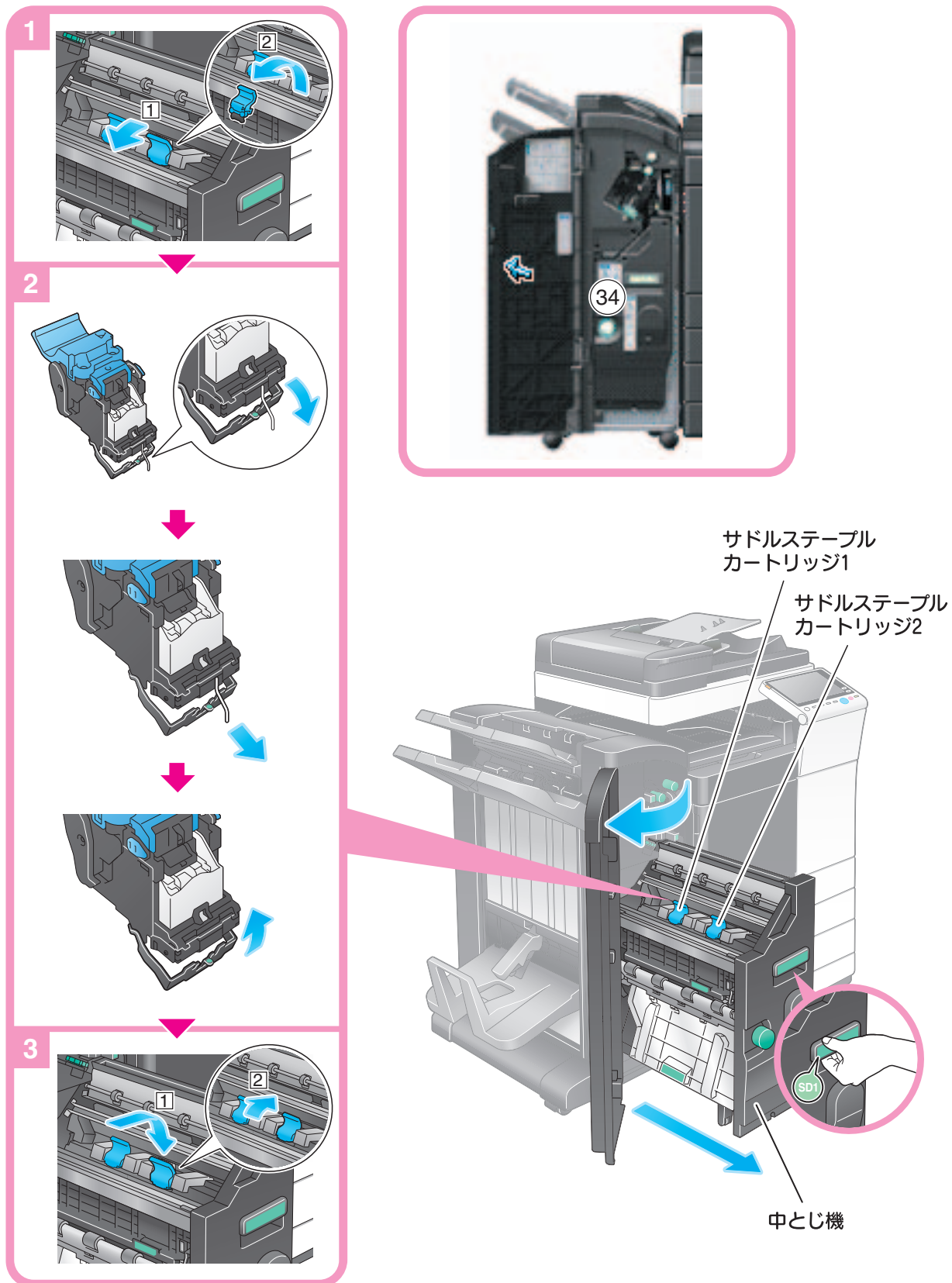
参考

- 本図は中とじ機付フロアフィニッシャーにパンチキット（フロアフィニッシャー用）、中継搬送ユニットを装着しています。

重要

けがをする恐れがありますので、ステープルの針づまり処理にはご注意ください。

1.4.2 中とじ機付フロアフィニッシャーの中とじ機で針づまりが発生した場合



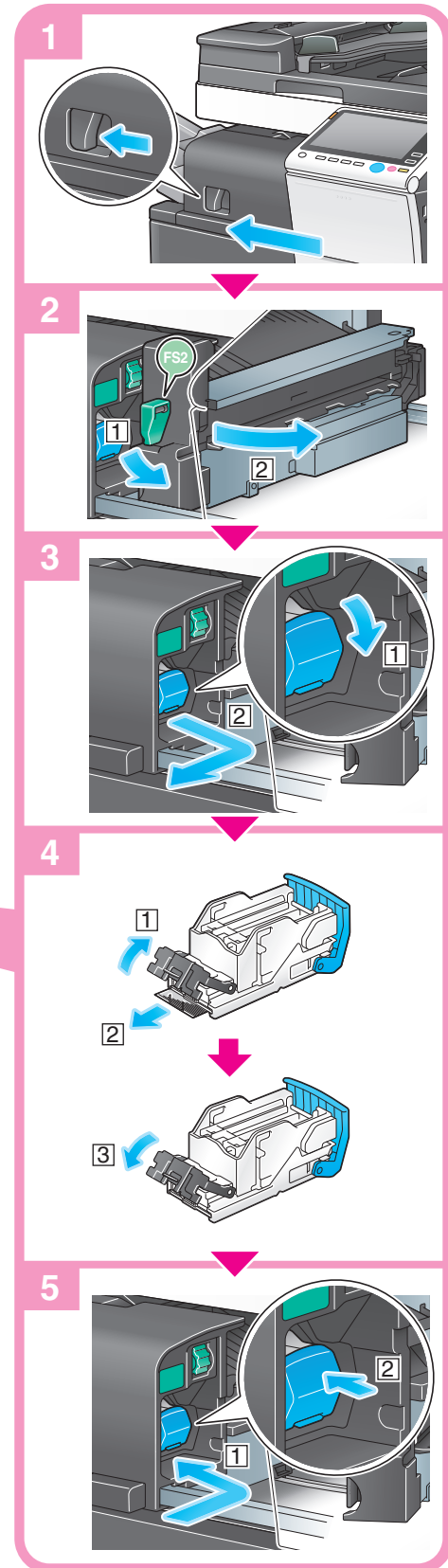
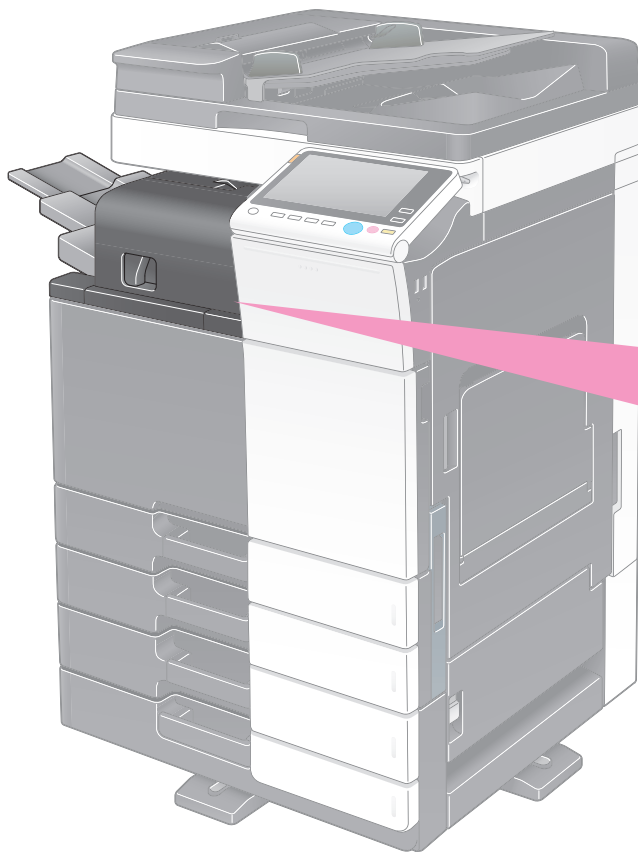
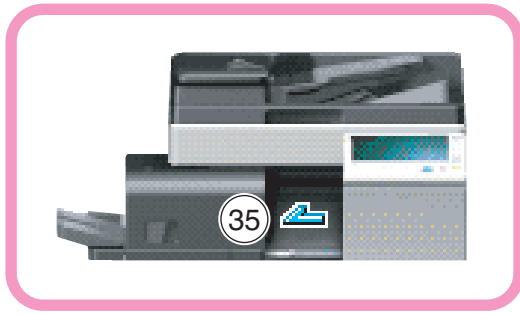
 参考

- 本図は中とじ機付フロアフィニッシャーにパンチキット（フロアフィニッシャー用）、中継搬送ユニットを装着しています。

重要

中とじ機を動かすときは、取っ手以外は持たないでください。手、指を挟みこむ恐れがあります。

1.4.3 インナーフィニッシャーで針づまりが発生した場合


参考

- 本図はインナーフィニッシャーにパンチキット（インナーフィニッシャー用）を装着しています。
重要
けがをする恐れがありますので、ステープルの針づまり処理にはご注意ください。

2

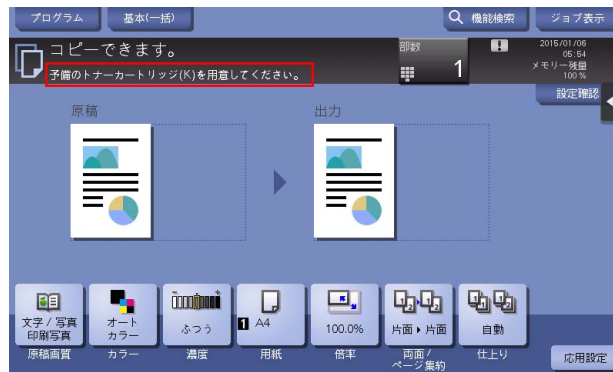
おもなメッセージと処理のしかた

2 おもなメッセージと処理のしかた

2.1 消耗品交換や清掃メンテナンスのメッセージが表示されたとき

本機で使用している消耗品が残り少なくなると、交換時期をお知らせするメッセージが表示されます。また、スリットガラスが汚れている場合にも、メッセージが表示されます。

表示された消耗品の交換や、スリットガラスの清掃を行ってください。



交換を促すメッセージが表示されたら、消耗品が少なくなってきた合図です。メッセージが表示されてもしばらくは印刷できますが、早めに消耗品を用意しましょう。

- トナーカートリッジの場合：[予備を用意してください] のあとに [交換時期です] が表示されます。保守契約に従って交換してください。
- ドラムユニットの場合：[まもなく交換時期です] または [交換時期です] が表示されたら、サービス実施店にご連絡ください。
- 現像ユニットの場合：[交換時期です] が表示されたら、サービス実施店にご連絡ください。
- 廃棄トナーボックスの場合：[交換時期です] が表示されたら、サービス実施店にご連絡ください。

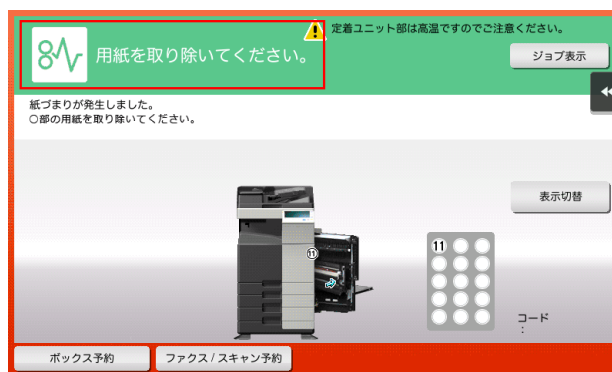
交換や清掃後もメッセージが消えない場合は、サービス実施店にご連絡ください。

参考

- ドラムユニット、現像ユニットについてのメッセージを表示するには、サービスエンジニアによる設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

2.2 紙づまりメッセージが消えないとき

タッチパネルに表示された紙づまり部分以外のところで、紙がつまっている場合があります。タッチパネルに表示されていない部分も、再度確認してください。



次の点を確認してください。

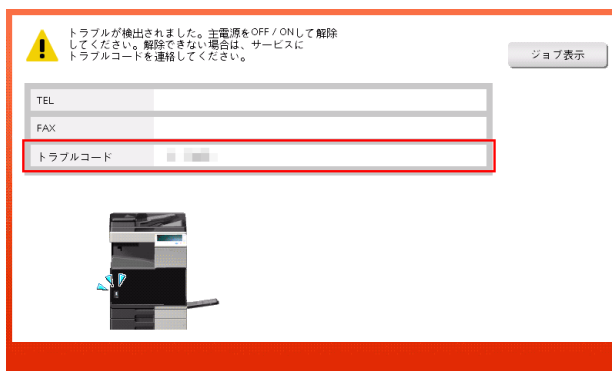
- タッチパネルに表示された番号部分の奥に紙片などが残っていないか確認してください。うまく紙が取除けない場合は、無理に取除かないでサービス実施店までご連絡ください。
- タッチパネルに表示された番号部分のドアを再度開け閉めしてください。この動作でメッセージが消えることがあります。

確認後も紙づまりの表示が消えない場合は、サービス実施店にご連絡ください。

2.3 トラブルメッセージが表示されたとき

トラブルが検出された場合、下図のようなメッセージが表示されます。画面のメッセージに従って、トラブルを処理してください。トラブルが処理できない場合は、[トラブルコード]を書きとめ、本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態でサービス実施店にご連絡ください。

画面中央には、お客様ご担当のサービス実施店の電話番号とファクス番号が表示されます。

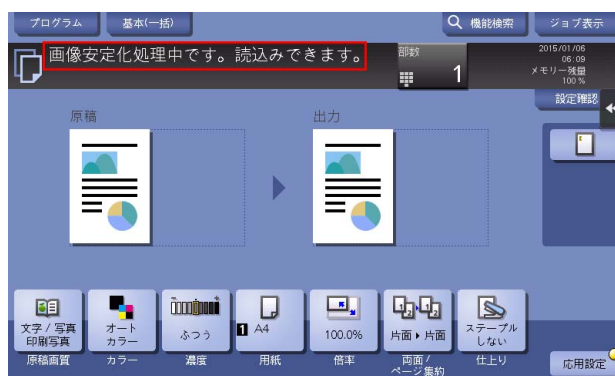


重要

トラブルを検出したときに、トラブル発生箇所を切り離して操作が継続可能な場合、[継続操作]または[データ復旧]が表示されます。操作を継続したい場合は、いずれかのキーを選択してください。ただし、トラブルは解消されていないため、速やかにサービス実施店にご連絡ください。

2.4 [画像安定化処理中です。] と表示されたとき

本機は色の再現を一定の状態に保つために、印刷画質を調整する機能が自動的にはたります。この「印刷画質の調整」を「画像安定化」と呼びます。



画像安定化は、たくさんの枚数を印刷しているときや機内の温度、湿度が変わったときに行われます。

画像安定化が終了すると自動的に印刷が再開されますので、そのまましばらくお待ちください。

しばらく待っても画像安定化が終了しない場合は、サービス実施店にご連絡ください。

重要

画像安定化を中断したり、禁止したりすることはできません。

画像安定化を任意で行う場合は、「ユーザズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。

3

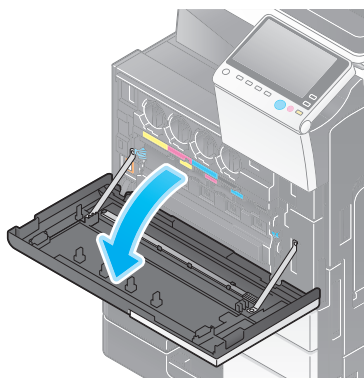
印刷の品質が低下したとき

3 印刷の品質が低下したとき

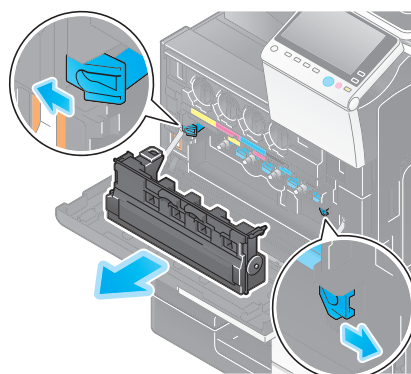
3.1 プリントヘッド窓の清掃のしかた

プリントヘッド窓が汚れると、印刷の品質が低下します。以下の手順に従って、プリントヘッド窓を清掃してください。

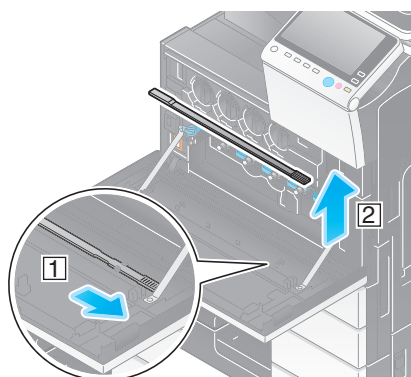
- 1 本機の前下ドアまたは前ドアを開きます。



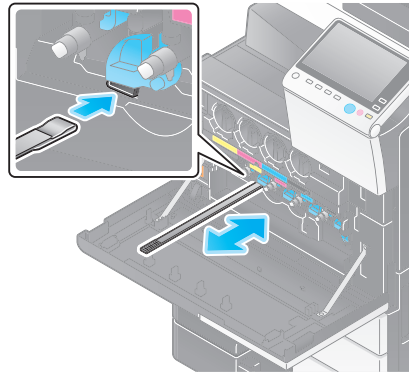
- 2 廃棄トナーボックス固定レバーを外して、廃棄トナーボックスを取外します。



- 3 プリントヘッド窓清掃具を、本機の前下ドアまたは前ドアから取外します。



- 4 プリントヘッド窓清掃具を、プリントヘッド窓の奥側に当たる位置までゆっくりと差込んで、手前側にゆっくりと引出します。
- この操作を、すべてのプリントヘッド窓で3回程度行います。



- 5 プリントヘッド窓清掃具を、本機の前下ドアまたは前ドアに取付けます。
- 6 廃棄トナーボックスを取付けます。
- 7 本機の前下ドアまたは前ドアを閉じます。

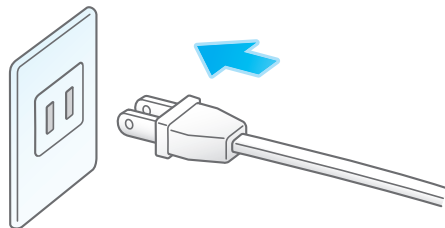
4

電源が入らないとき

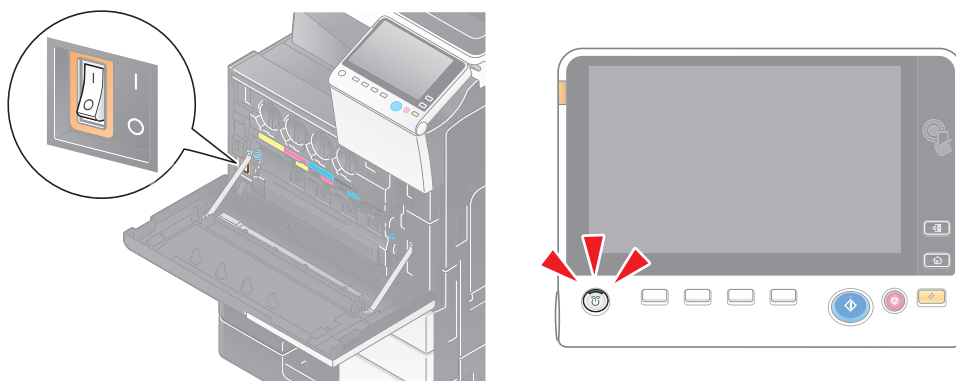
4 電源が入らないとき

本機には2つの電源があります。主電源スイッチと電源キーの状態を確認してください。

- 本機の電源プラグがコンセントにしっかり入っているか確認してください。またブレーカーが落ちていないか確認してください。



- 主電源スイッチと電源キーがONになっているか確認してください。



確認後も電源が入らない場合は、サービス実施店にご連絡ください。

5

タッチパネルが表示されないとき

5 タッチパネルが表示されないとき

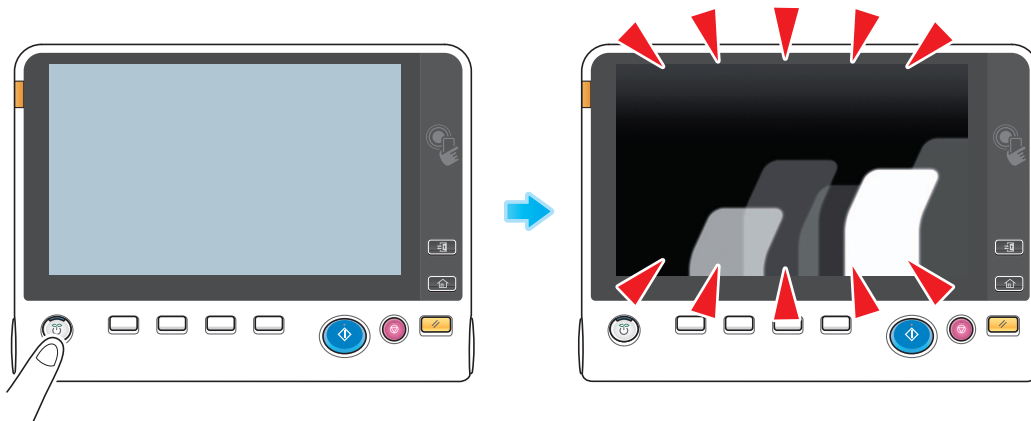
本機を操作せずに一定時間経過した場合は、本機が節電状態になり、タッチパネルの表示が消えていることがあります。

次の点を確認してください。

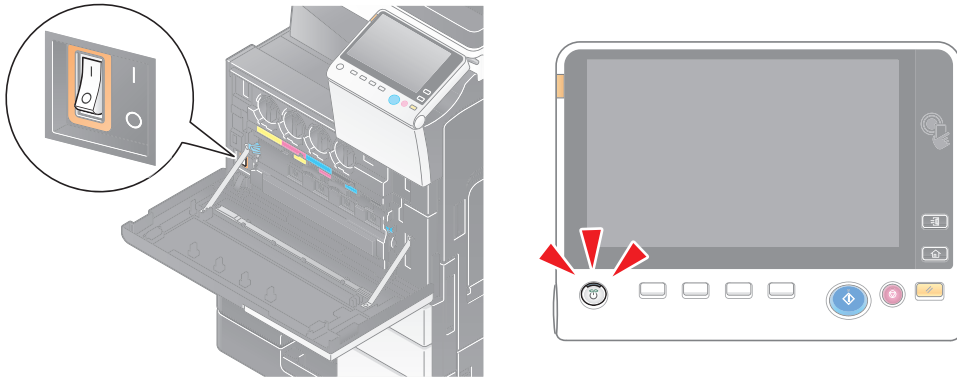
- [ユニバーサル設定] をタップし、[タッチパネル輝度調整] を選んで、[低く] / [高く] でタッチパネルのコントラスト（明るさ）を調節してください。



- タッチパネルに触れてみてください。本機がパワーセーブモード（低電力モード／スリープモード）になっている場合は、タッチパネルに触れたり操作パネル上のキーを押したりすると、パワーセーブモードから復帰し、暗くなっていたタッチパネルが表示されます。
- 操作パネルの電源キーを押してみてください。ウィークリータイマー設定によって ErP オートパワーOFF になっている場合は、電源キーを押すとタッチパネルが表示されます。画面に従って入力すれば、使用時間外でも使用できます。



- 主電源スイッチと電源キーが ON になっているか確認してください。



確認後もタッチパネルが表示されない場合は、サービス実施店にご連絡ください。

6

プリントできない

6 プリントできない

6.1 プリントできない

トラブルの内容	チェックポイント	対処方法
<p>コンピューター上の画面に「プリンターが接続されていない」または「印刷エラー」という内容のメッセージが表示される。</p>	電源は入っていますか？	本機の 主電源スイッチ を確認してください。ハブを使用している場合は、ハブの電源も確認してください。
	ErP オートパワー OFF 状態になっていませんか？	ErP オートパワー OFF 状態になっていると、ジョブの受信ができません。電源キーを押して ErP オートパワー OFF 状態を解除してください。 ErP オートパワー OFF については、「ユーザーズガイド [操作パネルについて] / [本機の電源を管理する]」をごらんください。
	別のプリンターを指定していませんか？	指定しているプリンター名を確認してください。
	ネットワークケーブルまたは USB ケーブルが外れていませんか？	ケーブルが正しく接続されているか確認してください。ハブを使用している場合は、ハブとの接続も確認してください。
	本機側でエラーが発生していませんか？	本機の 操作パネル を確認してください。
	コンピューターのメモリーが不足していませんか？	テスト印刷で印刷できるか確認してください。正しくテスト印刷できた場合、本機やプリンタードライバーに問題はありませんので、メモリーを不足させている要因を取除いてください。正しくテスト印刷できなかった場合は、本機やプリンタードライバーの問題を解決してください。 テスト印刷の方法については、6-8 ページをごらんください。
<p>コンピューター上の画面にポストスクリプトエラーが表示される。</p>	コンピューターのメモリーが不足していませんか？	テスト印刷で印刷できるか確認してください。正しくテスト印刷できた場合、本機やプリンタードライバーに問題はありませんので、メモリーを不足させている要因を取除いてください。正しくテスト印刷できなかった場合は、本機やプリンタードライバーの問題を解決してください。 テスト印刷の方法については、6-8 ページをごらんください。
	アプリケーションソフトウェアの設定によるエラーが考えられます。	アプリケーションソフトウェアの取扱説明書などを参考に、設定を確認してください。
	ファイルの印刷設定が間違っていないですか？	設定を変えて、再度印刷してみてください。

トラブルの内容	チェックポイント	対処方法
コンピューター側の印刷処理は終了しているのに、印刷が開始されない。	別のプリンターを指定していませんか？	指定しているプリンター名を確認してください。
	ネットワークケーブルまたは USB ケーブルが外れていませんか？	ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ハブを使用している場合は、ハブとの接続も確認してください。
	本機側でエラーが発生していませんか？	本機の 操作パネル を確認してください。
	未処理のジョブが本機に残っていて、処理待ち状態になっていませんか？	[ジョブ表示] をタップして、ジョブの順番を確認してください。 本機の [管理者設定] で [ジョブ優先動作設定] が有効になっている場合は、問題のないジョブのみ処理できます。
	印刷実行時に [ボックス保存] を指定していませんか？	目的のジョブがボックスに保存されていないか確認してください。ボックスに保存されている場合は、ボックスからファイルを印刷してください。 ボックスからファイルを印刷する方法については、6-9 ページをごらんください。
	印刷実行時に [セキュリティ印刷] を指定していませんか？	目的のファイルが [セキュリティ文書] に保存されていないか確認してください。[セキュリティ文書] に保存されている場合は、セキュリティ文書ボックスからファイルを印刷してください。 セキュリティ印刷の詳細については、「ユーザーズガイド [プリント機能] / [Windows 環境で印刷する]」をごらんください。
	本機側で [セキュリティ印刷のみ許可] になっていませんか？	[セキュリティ印刷] で印刷を実行してください。セキュリティ印刷の詳細については、「ユーザーズガイド [プリント機能] / [Windows 環境で印刷する]」をごらんください。
	部門管理している場合、部門名やパスワードが間違っていないですか？	部門名やパスワードを正しく入力してください。
	ユーザー認証を設定している場合、ユーザー名やパスワードが間違っていないですか？	ユーザー名やパスワードを正しく入力してください。
	プリンタードライバーと本機の暗号化ワードが異なっていませんか？	本機とプリンタードライバーの暗号化ワードを同じ設定にしてください。 プリンタードライバーの暗号化ワードを設定する方法については、6-10 ページをごらんください。
	コンピューターのメモリーが不足していませんか？	テスト印刷で印刷できるか確認してください。正しくテスト印刷できた場合、本機やプリンタードライバーに問題はありませんので、メモリーを不足させている要因を取除いてください。正しくテスト印刷できなかった場合は、本機やプリンタードライバーの問題を解決してください。 テスト印刷の方法については、6-8 ページをごらんください。
	ネットワークで接続している場合、プリンターコントローラーとのネットワークが確立されていますか？	ネットワーク管理者に確認してください。
	本機側でセキュリティ強化モードになっていませんか？	セキュリティ強化モードでの認証設定を行ってください。 セキュリティ強化モードでの認証設定については、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。

トラブルの内容	チェックポイント	対処方法
後から送ったジョブが先に印刷され、先に送ったジョブが印刷されない。	紙がないなどの理由で、本機側でエラーが発生していませんか？	本機の〔管理者設定〕で〔ジョブ優先動作設定〕が有効になっている場合は、問題のないジョブのみ処理し、エラーになっているジョブは処理待ち状態になります。
セキュリティ印刷で印刷できない。	本機で〔パスワード規約〕が〔有効〕になっていませんか？	〔パスワード規約〕が〔有効〕の場合は、パスワード規約に適合したパスワードを設定してください。
	プリンタードライバーと本機の暗号化ワードが異なっていませんか？	本機とプリンタードライバーの暗号化ワードを同じ設定にしてください。 プリンタードライバーの暗号化ワードを設定する方法については、6-10 ページをごらんください。
コンピューターからボックス保存したファイルが消えてしまった。	本機側でボックスのファイルが削除される設定になっていませんか？	本機側のボックス設定を確認してください。 ボックスのファイル削除設定については、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。
ユーザー認証または部門管理で印刷できない。	ユーザー名／部門名／パスワードが間違っていますか？	正しいユーザー名／部門名／パスワードを入力してください。
	プリンタードライバーでユーザー認証または部門管理機能が有効になっていますか？	プリンタードライバーでユーザー認証または部門管理を有効にしてください。 プリンタードライバーでユーザー認証／部門管理を有効にする方法については、6-11 ページをごらんください。
	プリンタードライバーと本機の暗号化ワードが異なっていませんか？	本機とプリンタードライバーの暗号化ワードを同じ設定にしてください。 プリンタードライバーの暗号化ワードを設定する方法については、6-10 ページをごらんください。
	お使いのユーザー名／部門名で印刷が許可されていますか？	お使いのユーザー名／部門名が印刷を許可されているかどうかを確認してください。 許可されている機能を確認する方法については、「ユーザーズガイド [Web 設定ツール] / [本機を操るユーザーを制限する]」をごらんください。
ユーザー認証で、〔パブリックユーザー〕を選択したがプリントできない。	本機側でパブリックユーザーのプリントが許可されていますか？	パブリックユーザーのプリントが許可されているかどうかを確認してください。許可されていない場合は、パブリックユーザーのプリントを許可してください。 パブリックユーザーのプリントを許可する方法については、6-12 ページをごらんください。
プリンタードライバー上で項目を選べない。	機能によっては組み合わせできない場合があります。	グレー表示の部分は設定できません。
コンピューター画面上に「設定できない」「機能が解除される」内容の「競合」メッセージが表示される。	組み合わせできない機能を設定していませんか？	内容を確認し、機能を指定しなおしてください。
設定したとおりに印刷できない。	正しく設定されていない可能性があります。	プリンタードライバーの各設定項目を確認してください。
	プリンタードライバー上では組み合わせ設定できても、本機では組み合わせができないことがあります。	
	アプリケーションで設定した用紙サイズや用紙の向きなどがプリンタードライバーでの設定より優先されて印刷されることがあります。	アプリケーション側を正しく設定してください。

トラブルの内容	チェックポイント	対処方法
ウォーターマークが印刷できない。	ウォーターマークが正しく設定されていますか？	ウォーターマークの設定を確認してください。ウォーターマークの設定については、「ユーザーズガイド [プリント機能] / [Windows 環境で印刷する]」をごらんください。
	ウォーターマークの濃度が薄く設定されていませんか？	ウォーターマークの濃度を確認してください。ウォーターマークの設定については、「ユーザーズガイド [プリント機能] / [Windows 環境で印刷する]」をごらんください。
	グラフィックス系などのアプリケーションソフトウェアでは、ウォーターマークが印刷されないことがあります。	この場合、ウォーターマークは印刷できません。
ステープルが指定できない。	ステープルは、オプションのフィニッシャーが必要です。	必要なオプションを装着し、プリンタードライバーでオプションを使用可能にしてください。
	封筒、はがき、厚紙 3、厚紙 4、OHP フィルムなどを指定した場合は、ステープルできません。	プリンタードライバーの各設定項目を確認してください。ステープルできる用紙種類などについては、「ユーザーズガイド [本機について] / [オプションの仕様を確認する]」をごらんください。
ステープルができない。	印刷するページ数が多い場合は、ステープルできません。	印刷するページ数を変更してください。
	印刷する文書に異なった用紙サイズが混在していませんか？	印刷する文書を確認してください。
ステープルの位置が思いどおりにならない。	ステープル位置や原稿の向きは合っていますか？	プリンタードライバーの設定でステープルの位置を確認してから印刷してください。ステープルの設定については、「ユーザーズガイド [プリント機能] / [Windows 環境で印刷する]」をごらんください。原稿の向きの設定については、「ユーザーズガイド [プリント機能] / [Windows 環境で印刷する]」をごらんください。
パンチが指定できない。	オプションのフィニッシャーとパンチキットが必要です。	必要なオプションを装着し、プリンタードライバーでオプションを使用可能にしてください。
	小冊子、OHP フィルム、封筒などを指定した場合は、パンチを指定できません。	プリンタードライバーの各設定項目を確認してください。パンチできる用紙種類などについては、「ユーザーズガイド [本機について] / [オプションの仕様を確認する]」をごらんください。
パンチされない。	給紙トレイにセットしてある用紙の向きは適切ですか？	給紙トレイの用紙の向きを確認してください。
パンチの位置が思いどおりにならない。	パンチ位置や原稿の向きは合っていますか？	プリンタードライバーの設定でパンチの位置を確認してから印刷してください。パンチの設定については、「ユーザーズガイド [プリント機能] / [Windows 環境で印刷する]」をごらんください。原稿の向きの設定については、「ユーザーズガイド [プリント機能] / [Windows 環境で印刷する]」をごらんください。
オーバーレイがうまく印刷されない。	コンピューターのメモリーが不足していませんか？	オーバーレイを簡単なものにして、データ量を減らしてください。
画像がうまく印刷されない。	コンピューターのメモリーが不足していませんか？	画像を簡単なものにして、データ量を減らしてください。

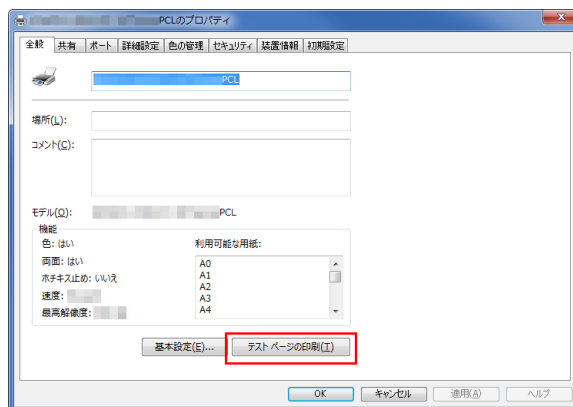
トラブルの内容	チェックポイント	対処方法
指定した給紙トレイから給紙されない。	指定した給紙トレイに必要なサイズ／方向の用紙が入っていますか？	給紙トレイに適切なサイズ／方向の用紙をセットしてください。
印刷時のシングルサインオンを有効にできない。	ホスト名から本体の IP アドレスを参照できますか？ また、本体の IP アドレスからホスト名を参照できますか？	Active Directory の DNS の前方参照ゾーンに A レコードを追加してください。 また、逆引き参照ゾーンに PTR レコードを追加してください。

6.2 おもなメッセージと処理のしかた

メッセージ	原因	処理のしかた
[サーバーに接続できません でした]	(1) ネットワークケーブルが 正しく接続されていません。 (2) [管理者設定] の [ネッ トワーク設定] が正しく設 定されていません。	(1) ネットワークケーブルが正しく接続 されているか確認してください。 (2) [管理者設定] の [ネットワーク設 定] が正しく設定されているか確認し てください。


6.3 テスト印刷を行う

- 1 プリンターのウィンドウを表示します。
 - Windows Server 2008 の場合は、スタートメニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] をクリックします。
[コントロール パネル] がクラシック表示になっている場合は、[プリンタ] をダブルクリックします。
 - Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。
スタートメニューに [デバイスとプリンター] が表示されていない場合は、[コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
 - Windows 8.1/10 の場合は、[Windows] (⊞) キーを押しながら [X] キーを押し、表示されたメニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
 - Windows Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 の場合は、[Windows] (⊞) キーを押しながら [X] キーを押し、表示されたメニューから [コントロール パネル] - [ハードウェア] - [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- 2 本機のアイコンを右クリックして [プロパティ] (または [プリンターのプロパティ]) をクリックします。
- 3 [全般] タブの [テストページの印刷] をクリックします。



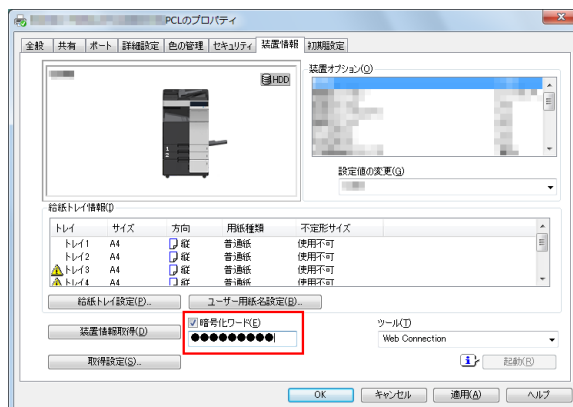
- 4 正しくテスト印刷できた場合は、[OK] をクリックします。
 - テスト印刷できなかった場合は、[トラブルシューティング] をクリックし、問題を解決してください。

6.4 ボックスからファイルを印刷する

- 1 トップメニューの [ボックス] をタップします。
- 2 目的のボックスを選んで、[開く] をタップします。
→ 目的のボックスをダブルタップして開くこともできます。
- 3 目的のファイルを選んで、[印刷] をタップします。
→ ファイルをロングタップしてメニューアイコンを表示し、 にドラッグ&ドロップすることで同じ操作ができます。
- 4 必要に応じて印刷設定を変更し、スタートを押します。

6.5 プリンタードライバーの暗号化ワードを設定する

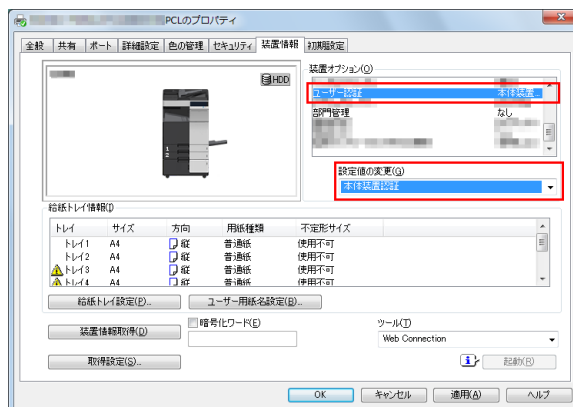
- 1 プリンターのウィンドウを表示します。
 - Windows Server 2008 の場合は、スタートメニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] をクリックします。
[コントロール パネル] がクラシック表示になっている場合は、[プリンタ] をダブルクリックします。
 - Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。
スタートメニューに [デバイスとプリンター] が表示されていない場合は、[コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
 - Windows 8.1/10 の場合は、[Windows] (⊞) キーを押しながら [X] キーを押し、表示されたメニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
 - Windows Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 の場合は、[Windows] (⊞) キーを押しながら [X] キーを押し、表示されたメニューから [コントロール パネル] - [ハードウェア] - [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- 2 本機のアイコンを右クリックして [プロパティ] (または [プリンターのプロパティ]) をクリックします。
- 3 [装置情報] タブの [暗号化ワード] をチェックし、本機で設定されている暗号化ワードを入力します。



- 4 [OK] をクリックします。

6.6 プリンタードライバーでユーザー認証/部門管理を有効にする

- 1 プリンターのウィンドウを表示します。
 - Windows Server 2008 の場合は、スタートメニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] をクリックします。
[コントロール パネル] がクラシック表示になっている場合は、[プリンタ] をダブルクリックします。
 - Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。
スタートメニューに [デバイスとプリンター] が表示されていない場合は、[コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
 - Windows 8.1/10 の場合は、[Windows] (⊞) キーを押しながら [X] キーを押し、表示されたメニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
 - Windows Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 の場合は、[Windows] (⊞) キーを押しながら [X] キーを押し、表示されたメニューから [コントロール パネル] - [ハードウェア] - [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- 2 本機のアイコンを右クリックして [プロパティ] (または [プリンターのプロパティ]) をクリックします。
- 3 [装置情報] タブの [装置オプション] で [ユーザー認証] または [部門管理] を選び、[設定値の変更] から目的の項目を選びます。



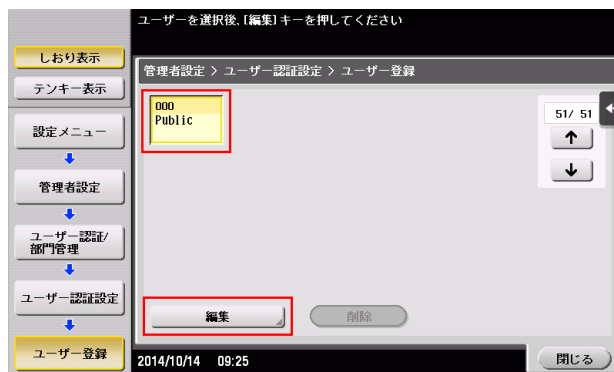
重要

本機側に合わせた設定をしてください。本機側と異なる設定をした場合は、無効になります。

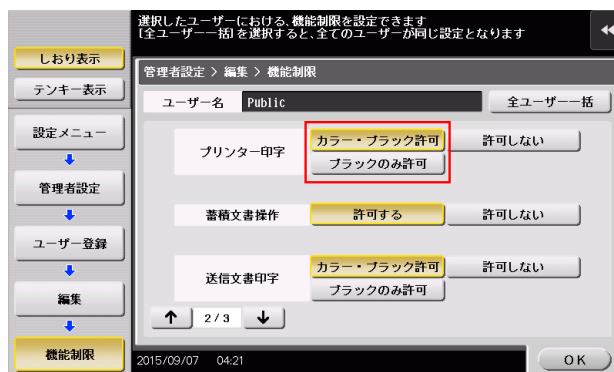
- 4 [OK] をクリックします。

6.7 パブリックユーザーのプリントを許可する

- 1 [設定メニュー] をタップし、[管理者設定] を選びます。
- 2 パスワードを入力し、[OK] をタップします。
- 3 [ユーザー認証 / 部門管理] - [ユーザー認証設定] - [ユーザー登録] を選びます。
- 4 [↑] をタップして [000 Public] を選び、[編集] をタップします。



- 5 [機能制限] をタップします。
- 6 [プリンター印字] の [カラー・ブラック許可] または [ブラックのみ許可] を選び、[OK] をタップします。



- 7 [OK] をタップします。

7

ネットワークファクス／ネットワークスキャンできない

7 ネットワークファクス/ネットワークスキャンできない

7.1 ネットワークファクス/ネットワークスキャンできない

トラブルの内容	チェックポイント	対処方法
送信できない。	送信しようとしている E-mail 1 通あたりの容量が、SMTP サーバーが受信できる最大容量を超えていませんか？	E-mail 1 通あたりの容量が SMTP サーバーが受信できる最大容量を超えている場合、エラーとなり送信できません。
	送信の手順は正しいですか？	送信手順を確認して、もう 1 度送信してください。
	ネットワークの設定や接続は正しいですか？	ネットワークの設定や接続を確認してください。 ネットワークの設定については、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。
	本機の E-mail アドレスは設定されていますか？	本機の E-mail アドレスを確認し、設定してください。 E-mail アドレスの設定については、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。
	ケーブル類が正しく接続されていますか？	ネットワークケーブル、モジュラーケーブルなどが正しく接続されているか確認してください。
	入力した相手のファクス番号やアドレスが間違っていますか？ 短縮宛先やプログラム宛先は正しく登録されていますか？	短縮宛先やプログラム宛先を使用している場合、登録しているファクス番号が間違っていることがあります。 短縮宛先リストを印刷するなどして、正しく登録されているか確認してください。宛先リストを印刷する方法については、7-6 ページをごらんください。
	受信側にトラブルはありませんか？	相手機の電源が OFF になっている、用紙がないなどのトラブルはありませんか？ 受信側に電話をかけるなどして確認してください。
受信できない。	電源は入っていますか？	本機の 主電源スイッチ を確認してください。 ハブを使用している場合は、ハブの電源も確認してください。
	ErP オートパワー OFF 状態になっていませんか？	ErP オートパワー OFF 状態になっていると、ジョブの受信ができません。 電源キー を押して ErP オートパワー OFF 状態を解除してください。 ErP オートパワー OFF については、「ユーザーズガイド [操作パネルについて] / [本機の電源を管理する]」をごらんください。
	ケーブル類が正しく接続されていますか？	ネットワークケーブル、モジュラーケーブルなどが正しく接続されているか確認してください。
	メモリー不足、ハードディスクの容量不足ではありませんか？	メモリー残量、ハードディスクの残量を確認してください。残量が不足しているときは、受信できない、または受信しても印刷できなくなります。

トラブルの内容	チェックポイント	対処方法
スキャンしたデータを指定したコンピューターに送信 (SMB 送信) できない。	フォルダーの指定が間違っていますか？	送信先のフォルダーを「/(スラッシュ)」で区切ると、フォルダーを指定できません。送信先のフォルダーは「¥」で区切ってください。
	名前が半角 13 文字以上のフォルダーを指定していませんか？	Mac OS のフォルダーにスキャンしたデータを送信する場合、名前が半角 12 文字以内のフォルダーを指定してください。
スキャンしたデータを指定したコンピューターに送信 (SMB 送信) するとき、動作が遅い。	[LLMNR 設定] が有効になっていませんか？	[LLMNR 設定] を無効にしてください。[LLMNR 設定] については、「ユーザズガイド [Web 設定ツール] / [スキャン送信の使用環境を設定する]」をごらんください。
スキャンしたデータを指定したコンピューターに送信 (SMB 送信) するとき、「サーバー接続エラー」が発生する。	ネットワークケーブルが外れていませんか？	ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。
	本機からのパケットが送信先まで届いていますか？	本機からのパケットが送信先まで届いているか確認してください。届いていない場合は、以下のような点を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> 新しいネットワークケーブルに変える。 無線を使用している場合、無線の設定が正しいか確認する。または、有線に切替える。 本機からパケットが出ていない場合は、本機の IP 設定を確認する。 送信先の IP アドレスが正しく登録されているか確認する。
スキャンしたデータを指定したコンピューターに送信 (SMB 送信) するとき、「ログインエラー」が発生する。	送信先の [ファイルパス] の設定が間違っていないか？	送信先の [ファイルパス] が正しく登録されているか確認してください。
	ドメイン運用していませんか？	ドメイン運用している場合は、ドメインユーザ名とローカルユーザ名を別にしてください。ドメインユーザ名とローカルユーザ名が同じ場合は、パスワードも同じにしてください。
プリントされない。	強制メモリー受信が設定されていますか？	強制メモリー受信が設定されている場合は、[強制メモリー受信] ボックスからファクスを印刷してください。強制メモリー受信の詳細については、「ユーザズガイド [ボックス機能] / [メモリーに受信したファクスを印刷する (強制メモリー受信)]」をごらんください。
	用紙はセットされていますか？	画面に用紙補給アイコンが点灯している場合は、用紙がなくなり、メモリーに受信した原稿データが蓄積されています。用紙を補給してください。
	用紙がつかまっていませんか？	紙づまりが発生している場合、受信した原稿データはメモリーに蓄積されたままとなります。つまっている用紙を取除いてください。紙づまりの対処については、1-2 ページをごらんください。
	トナーがなくなっていますか？	トナーがなくなると受信できません。トナーカートリッジを交換してください。トナーカートリッジの交換については、「ユーザズガイド [メンテナンス] / [消耗品を交換する]」をごらんください。

7.2 ネットワークファクスエラーコード表

送信系エラーコード

ネットワークファクスを送信時にトラブルが発生するとエラー画面が表示され、Nxx 形式のエラーコードが表示されます。以下の表を参照して処置をしてください。

コード	分類	エラー内容	リダイヤル有無	処置
N00	接続エラー	宛先エラー	無	<ul style="list-style-type: none"> 宛先に誤りがないか確認してください。 相手機の状態を確認して、もう1度送信してください。
N01	相手ビジー	相手機ビジー	有	<ul style="list-style-type: none"> 相手機の状態を確認してください。 しばらく待ってからもう1度送信してください。
N03	サーバー	グローバルエラー	無	<ul style="list-style-type: none"> 相手機の状態を確認して、もう1度送信してください。
N04	LAN 接続	接続タイムアウト	無	<ul style="list-style-type: none"> 宛先に誤りがないか確認してください。 ケーブル抜け等、ネットワーク異常が発生していないか確認してください。
N06	プロトコル	ステータスコードエラー	無	<ul style="list-style-type: none"> 相手機の状態を確認して、もう1度送信してください。
N10	接続エラー	サーバー接続エラー	無	<ul style="list-style-type: none"> 相手機の状態を確認してください。 本機のネットワーク設定を確認してください。 ネットワークが正常に稼動しているかを、ネットワーク管理者に確認してください。
N11	接続エラー	接続拒否	無	受信が拒否されています。相手機の状態を確認してください。
N12	接続エラー	回線切断	有	ケーブル抜け等、ネットワーク異常が発生していないか確認してください。
N13	接続エラー	ネットワーク応答なし	無	<ul style="list-style-type: none"> 相手機の状態を確認してください。 本機のネットワーク設定を確認してください。 ネットワークが正常に稼動しているかを、ネットワーク管理者に確認してください。
N14	接続エラー	メール配信エラー	無	相手機の状態を確認して、もう1度送信してください。
N15	相手リセット	相手機接続リセット	有	相手機の状態を確認して、もう1度送信してください。
N16	相手機ビジー	相手機ビジー	有	相手機の状態を確認して、もう1度送信してください。
N17	LAN 接続	接続タイムアウト	無	相手機の状態を確認して、もう1度送信してください。
N18	ネットワークエラー	ネットワークエラー	無	<ul style="list-style-type: none"> 各設定が正しいかを確認してください。 ケーブル抜け等、ネットワーク異常が発生していないか確認してください。 主電源スイッチを OFF/ON した後、もう1度送信してください。 <p>主電源スイッチを OFF/ON する方法については、「ユーザーズガイド [はじめに] / [電源を ON/OFF する]」をご覧ください。</p>

コード	分類	エラー内容	リダイヤル有無	処置
N20	メモリーエラー	メモリーエラー	無	メモリーがいっぱいです。 <ul style="list-style-type: none"> 他の処理中のジョブがないことを確認してください。 送信枚数を減らしたり、読み解像度を下げて、もう1度送信してください。
N21	HDD エラー	HDD エラー	無	ハードディスクがいっぱいです。 <ul style="list-style-type: none"> 不要なファイルを削除してください。 送信枚数を減らしたり、読み解像度を下げて、もう1度送信してください。
N22	変換エラー	変換エラー	無	主電源スイッチ を OFF/ON した後、もう1度送信してください。 主電源スイッチ を OFF/ON する方法については、「ユーザーズガイド [はじめに] / [電源を ON/OFF する]」をごらんください。
N25	メモリーオーバーフロー	メモリーオーバー	無	メモリーがいっぱいです。 <ul style="list-style-type: none"> 他の処理中のジョブがないことを確認してください。 送信枚数を減らしたり、読み解像度を下げて、もう1度送信してください。
N30	シーケンスエラー	LAN 切断中に上位から送信起動要求が来た	無	<ul style="list-style-type: none"> 送信ジョブを削除し、主電源スイッチを OFF/ON してください。 主電源スイッチを OFF/ON する方法については、「ユーザーズガイド [はじめに] / [電源を ON/OFF する]」をごらんください。 宛先に誤りがないか、ケーブル抜け等のネットワーク異常が発生していないかを確認し、もう1度送信してください。
N31	シーケンスエラー	SDK 初期化未完了で上位から送信起動要求が来た	無	しばらく待ってから、もう1度送信してください。

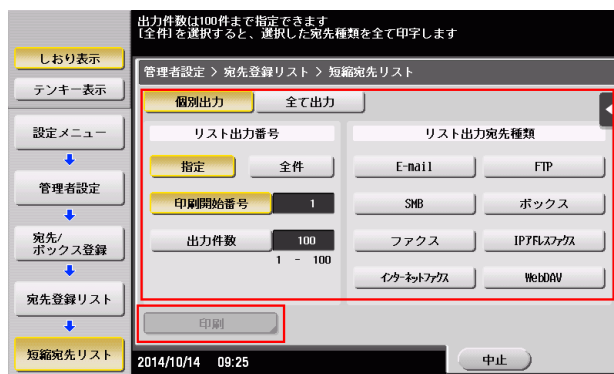
受信系エラーコード

ネットワークファクスを受信時にトラブルが発生するとエラー画面が表示され、Nxx 形式のエラーコードが表示されます。以下の表を参照して処置をしてください。

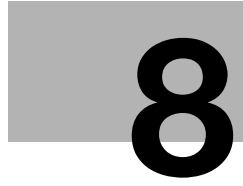
コード	分類	エラー内容	処置
N50	SMTP 受信	SMTP 受信エラー	着信の呼接続後、60 分間 SMTP 受信が始まらない場合、本エラーとなります。 送信側に再送を依頼してください。
N51	デコード	受信長オーバー	送信側に、送信原稿長を短くして再送するよう依頼してください。
N52	デコード	受信頁オーバー	送信側に、送信原稿枚数を少なくして再送するよう依頼してください。
N53	デコード	ファイル・エラー	送信側に、以下の正しいファイル形式で再送するよう依頼してください。 インターネットファクス：TIFF IP アドレスファクス：PDF または TIFF
N54	デコード	デコード・エラー	不正な形式のデータを受信しました。送信側に正しい形式での再送を依頼してください。

7.3 宛先リストを印刷する

- 1 [設定メニュー] をタップし、[管理者設定] を選びます。
- 2 パスワードを入力し、[OK] をタップします。
- 3 [宛先 / ボックス登録] - [宛先登録リスト] を選びます。
- 4 宛先リストを印刷する項目を選びます。
- 5 宛先リストの印刷方法を設定し、[印刷] をタップします。
 - [個別出力] を選んだ場合は、リストに印刷する宛先の開始番号、出力件数、宛先の種類を設定します。
 - [全て出力] を選ぶと、すべての宛先をリストに印刷します。



- 6 給紙トレイと片面／両面印刷を設定し、[実行] をタップします。



ファクスできない

8 ファクスできない

8.1 ファクス送信できない

トラブルの内容	チェックポイント	対処方法
送信できない。	送信の手順は正しいですか？	送信手順を確認して、もう1度送信してください。
	入力した相手のファクス番号は間違っていないか？ 短縮宛先やプログラム宛先は、正しく登録されていますか？	短縮宛先やプログラム宛先を使用している場合、登録しているファクス番号が誤っていることがあります。 短縮宛先リストをプリントするなどして、正しく登録されているか確認してください。宛先リストを印刷する方法については、7-6ページをごらんください。
	電話回線の設定は正しいですか？	〔ダイヤル方式〕はお使いの電話回線に合っていますか？ 設定を確認して、誤りがある場合は修正してください。 ダイヤル方式の設定については、8-8ページをごらんください。 また、〔回線指定〕で正しい電話回線が指定されていますか？ 短縮宛先に登録されている回線や、ファクス送信時に設定した回線が間違っていないか確認してください。
	モジュラーケーブルは正しく接続されていますか？	モジュラーケーブルが外れていませんか？ モジュラーケーブルの接続を確認し、外れている場合は接続してください。 また、〔回線指定〕で指定した回線が正しく接続されていますか？ 指定した回線の接続を確認してください。
	受信側にトラブルはありませんか？	相手機の電源が切れている、用紙がないなどのトラブルはありませんか？ 受信側に電話をかけて確認してください。
	パスワード送信している場合、パスワードを間違えていませんか？	相手先のパスワードを確認し、正しいパスワードで送信し直してください。
	宛先確認送信で、相手先に送信元のファクス番号が正しく登録されていますか？	相手先に登録されているファクス番号が正しいかどうか確認してください。 または、〔宛先確認送信〕を〔しない〕に設定して送信してください。 〔宛先確認送信〕の設定については、8-9ページをごらんください。

8.2 ファクス受信できない

トラブルの内容	チェックポイント	対処方法
受信できない。	電源は入っていますか？	本機の主電源スイッチを確認してください。 ハブを使用している場合は、ハブの電源も確認してください。
	ErP オートパワー OFF 状態になっていませんか？	ErP オートパワー OFF 状態になっていると、ジョブの受信ができません。 電源キーを押して ErP オートパワー OFF 状態を解除してください。 ErP オートパワー OFF については、「ユーザズガイド [操作パネルについて] / [本機の電源を管理する]」をごらんください。
	手動受信に設定していませんか？	「受信方式」が「手動受信」に設定されている場合は、手動で受信してください。
	モジュラーケーブルは正しく接続されていますか？	モジュラーケーブルが外れていませんか？ モジュラーケーブルの接続を確認し、外れている場合は接続してください。
	「閉域受信設定」が有効になっていませんか？	「閉域受信設定」が有効になっている場合は、特定の相手からのファクスだけを受信します。管理者にお問い合わせください。
	送信側から F コードで正しくない SUB アドレスが送信されていませんか？	親展ボックスや中継ボックスが設定されている場合、正しくない SUB アドレスを受信すると、通信エラーが発生し、受信できない場合があります。送信側に SUB アドレスの設定を確認してください。
	ナンバーディスプレイ、ダイヤルインなどの設定が、接続している通信回線と合っていますか？	設定が合っていないと受信できないことがあります。接続している通信回線については管理者に確認してください。
	ダイヤルインの着信番号は正しいですか？	ダイヤルインを利用している場合、ファクス、電話、PC-FAX として着信させる番号が正しく設定されているか確認してください。 ダイヤルインの着信番号の設定については、「ユーザズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。
	着信拒否に登録している番号から受信していませんか？	受信している番号が誤って着信拒否に登録されている場合は受信できません。着信拒否を解除してください。 着信拒否の設定については、「ユーザズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。
	特殊な内線交換器を使用していませんか？	呼出しベルの鳴り方が NTT の回線の鳴り方と違う内線交換器を使用している場合は、着信できないことがあります。内線交換器の設定を確認してください。 「IR」と「SIR」の設定がある場合は、「IR」に設定してください。

トラブルの内容	チェックポイント	対処方法
プリントされない。	PC-FAX 受信が設定されていませんか？	PC-FAX 受信で保存されたボックスを確認してください。
	TSI 受信振分けが設定されていませんか？	TSI 受信振分けで保存されたボックスを確認してください。
	強制メモリー受信が設定されていませんか？	強制メモリー受信が設定されている場合は、[強制メモリー受信] ボックスからファクスを印刷してください。 強制メモリー受信の詳細については、「ユーザズガイド [ボックス機能] / [メモリーに受信したファクスを印刷する (強制メモリー受信)]」をごらんください。
	用紙はセットされていますか？	用紙がない場合は、用紙補給アイコンが点灯し、メモリーに受信したファクスが蓄積されます。用紙を補給してください。
	紙がつまっていませんか？	紙づまりが発生している場合は、メモリーに受信したファクスが蓄積されず、つまっている用紙を取除いてください。
	トナーがなくなっていますか？	トナーがなくなると受信できません。 トナーカートリッジを交換してください。 トナーカートリッジの交換については、「ユーザズガイド [メンテナンス] / [消耗品を交換する]」をごらんください。

8.3 G3 ファクスエラーコード表

送信系エラーコード

G3 ファクスを送信時にトラブルが発生するとエラー画面が表示され、Txx 形式のエラーコードが表示されます。以下の表を参照して処置を行ってください。

コード	処置
T00	<ul style="list-style-type: none"> 宛先に誤りがないか確認してください。 相手機の状態を確認してください。
T05	相手機の状態を確認してください。
T08	回線状態を確認してください。
T18	相手機の状態を確認してください。
T28	相手機の状態を確認してください。
T32	回線状態を確認してください。
T42	回線状態を確認してください。
T43	回線状態を確認してください。
T48	<ul style="list-style-type: none"> 宛先に誤りがないか確認してください。 相手機に登録されている番号が正しいか確認してください。
T51	回線状態を確認してください。
T58	相手機にポーリング原稿が登録されていません。相手に原稿をセットするよう連絡してください。
T60	相手機に送信するためのポーリング原稿を登録してください。
T61	掲示板ポーリング送信原稿が登録されているか確認してください。
T62	相手に正しい掲示板ボックス番号を連絡してください。
T80	回線状態を確認してください。
T81	回線状態を確認してください。
T82	<ul style="list-style-type: none"> 宛先に誤りがないか確認してください。 相手機の状態を確認してください。
T85	回線状態を確認してください。
T89	課金管理装置の残高を確認してください。
T90	送信に使用する回線を指定してください。
T91	異なる回線を指定して、送信してください。
T95	回線状態を確認してください。
T97	ファクスボードの状態を確認してください。(サービス実施店にお問い合わせください。)
T98	その組み合わせの転送は出来ません。転送設定を確認してください。
T99	電話帳の登録状態を確認してください。

受信系エラーコード

G3 ファクスを受信時にトラブルが発生するとエラー画面が表示され、Rxx 形式のエラーコードが表示されます。以下の表を参照して処置を行ってください。

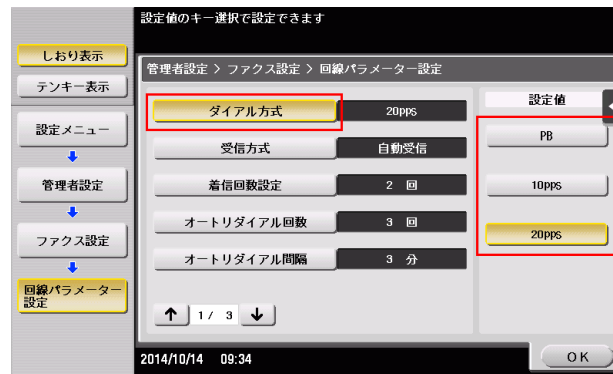
コード	処置
R18	自機を確認してください。トナー、記録紙がなければ補充し、メモリーがいっぱいになっている場合は、メモリーを空けてください。
R21	閉域受信機能を OFF するか、相手に正しいパスワードを連絡してください。
R22	閉域受信機能を OFF するか、相手に正しいパスワードを連絡してください。
R32	ボックス自動生成の設定を変更するか、相手に正しい親展ボックス番号を連絡してください。
R50	回線状態を確認してください。
R51	回線状態を確認してください。
R60	回線状態を確認してください。
R63	回線状態を確認してください。
R69	回線状態を確認してください。
R72	原稿の長さを短くして再送信するよう、相手に連絡してください。
R93	<ul style="list-style-type: none">相手に確認の上、受信するための親展ボックスを登録してください。親展パスワードを確認してください。
R94	<ul style="list-style-type: none">相手に確認の上、中継配信するための中継ボックスを登録してください。中継パスワードを確認してください。
R95	転送ファクス設定を確認してください。
R96	相手に正しい親展ボックス番号を連絡してください。
R97	PC-FAX 受信設定を確認してください。

8.4 おもなメッセージと処理のしかた

メッセージ	原因	処理のしかた
[ダイヤル中にエラーが発生したためジョブが正常終了しませんでした。履歴を確認してください。]	設定されている回数分のリダイヤルをしましたが、相手が話し中などで送信できませんでした。	受信側の状態を確認して、もう1度送信してください。
[相手機を確認できませんでした。]	宛先確認送信を [する] にして送信したときに、相手機を確認できませんでした。	受信側のファクス ID が正しく登録されているか確認してください。
[メモリー残量不足のため、読み込みを継続できません。[送信] キーを押して読み込んだ分だけ送信するか、[削除] キーを押してください。]	原稿読み込み中に、メモリーがいっぱいになりました。	読み込みが終わった原稿を送信する場合はスタートを、中止する場合はストップを押してください。
[ジョブが正常終了しませんでした。回線の接続を確認してください。]	モジュラーケーブルが抜けている可能性があります。	モジュラーケーブルの接続を確認し、外れている場合は接続してください。
[サーバーに接続できませんでした]	(1) ネットワークケーブルが正しく接続されていません。 (2) [管理者設定] の [ネットワーク設定] が正しく設定されていません。	(1) ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。 (2) [管理者設定] の [ネットワーク設定] が正しく設定されているか確認してください。
[同報可能件数を越えたため指定した通信方式の宛先は選択できません]	同報可能件数をこえて宛先を指定しています。	同報宛先の数を減らし、数回に分けて指定してください。
[HDD 容量オーバーのため、ボックスに文書を保存できませんでした。履歴を確認してください。]	ハードディスクがいっぱいになりました。	不要なデータを削除してから保存しなおしてください。
[ボックス登録数が上限に達しているため、ボックスを作成できません。]	登録できるボックスの上限をこえています。	不要なボックスを削除してから登録しなおしてください。
[ボックス内の文書数が上限に達しているため、実行できません。]	ひとつのボックスに登録できるドキュメントの上限をこえています。	不要なドキュメントを削除してから登録しなおしてください。
[ジョブの登録が上限値です登録中のジョブが終了するまでしばらくお待ちください。]	登録されているジョブの上限をこえています。	終了するまで待つか、現在のジョブを削除してください。

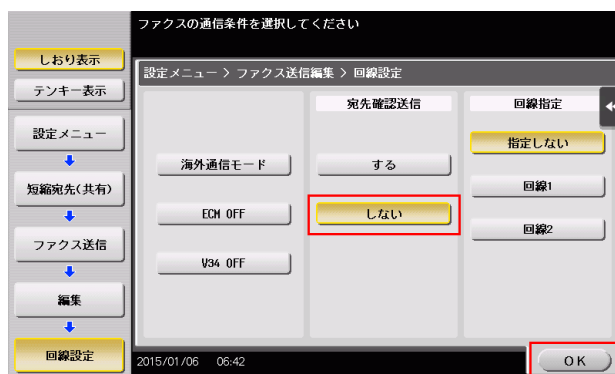
8.5 [ダイヤル方式] を設定する

- 1 [設定メニュー] をタップし、[管理者設定] を選びます。
- 2 パスワードを入力し、[OK] をタップします。
- 3 [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] を選びます。
- 4 [ダイヤル方式] を選び、お使いの電話回線に合った設定にして、[OK] をタップします。



8.6 [宛先確認送信] を設定する

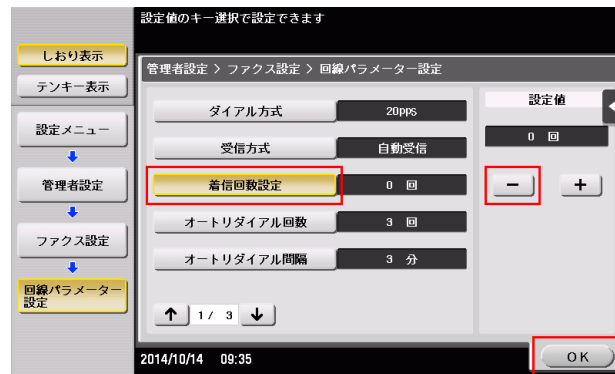
- 1 [設定メニュー] をタップし、[宛先 / ボックス登録] を選びます。
- 2 [ファクス / スキャン宛先登録] - [短縮宛先] - [ファクス送信] を選びます。
- 3 目的の短縮宛先を選び、[編集] をタップします。
- 4 [回線設定] をタップし、[宛先確認送信] を [しない] に設定して、[OK] をタップします。



- 5 [OK] をタップします。

8.7 着信回数を設定する

- 1 [設定メニュー] をタップし、[管理者設定] を選びます。
- 2 パスワードを入力し、[OK] をタップします。
- 3 [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] を選びます。
- 4 [着信回数設定] を選び、[-] をタップして「0」に設定し、[OK] をタップします。



9

コピーできない

9 コピーできない

9.1 コピーできない

トラブルの内容	チェックポイント	対処方法
コピーがスタートしない。	本機のドアを確実に閉じていますか？	本機のドアを確実に閉めてください。
	原稿サイズに合った適正な用紙が給紙トレイにセットされていますか？	適正なサイズの内紙を給紙トレイにセットしてください。
原稿が送られない。	ADF が浮いていませんか？	ADF を確実に閉じてください。
	仕様以外の原稿を使用していませんか？	ADF にセットできる原稿の仕様を確認してください。
	原稿を正しくセットしていますか？	原稿を正しくセットしてください。
画像がうすい。	濃度の設定が、[うすい] になっていませんか？	コピーのトップ画面で [濃度] をタップして、濃度を調整してください。
	用紙が湿気を含んでいませんか？	新しい用紙に交換してください。
画像がこい。	濃度の設定が、[こい] になっていませんか？	コピーのトップ画面で [濃度] をタップして、濃度を調整してください。
	原稿が原稿ガラスから浮上っていますか？	原稿が原稿ガラスに密着するようにセットしてください。
画像がにじむまたはぼける。	用紙が湿気を含んでいませんか？	新しい用紙に交換してください。
	原稿が原稿ガラスから浮上っていますか？	原稿が原稿ガラスに密着するようにセットしてください。
コピーした用紙の全体が汚れる。 コピーした用紙にスジが表れる。	原稿ガラスが汚れていませんか？	原稿ガラスを柔らかな布で乾拭きしてください。
	スリットガラスが汚れていませんか？	スリットガラスを柔らかな布で乾拭きしてください。
	原稿押えパッドが汚れていませんか？	柔らかな布に中性洗剤をつけ、原稿押えパッドを清掃してください。
	第2原図、OHP フィルムなどの透明度の高い原稿を使っていますか？	原稿の上に白紙をのせてコピーしてください。
	両面原稿を使っていますか？	うすい紙の両面原稿の場合、裏面の原稿内容が透けて、表面の原稿に写ってしまうことがあります。下地調整画面で下地レベルをうすくしてください。下地調整の詳細については、「ユーザーズガイド [コピー機能] / [カラーや画質を指定してコピーする]」をごらんください。

トラブルの内容	チェックポイント	対処方法
画像が傾いている。	原稿が正しくセットされていますか？	原稿ガラスをお使いの場合は、原稿を原稿スケールに合わせて、正しくセットしてください。 ADFをお使いの場合は、ガイド板を原稿サイズに正しく合わせてください。
	ADFに適した原稿がセットされていますか？	ADFに適していない原稿の場合は、原稿ガラスを使用してコピーしてください。
	スリットガラスに異物が付着していませんか？(ADF使用時)	スリットガラスを柔らかな布で乾拭きしてください。
	給紙トレイのガイド板が用紙に正しく合わせてありますか？	用紙端面にガイド板を正しく合わせてください。
	カールの大きい用紙が給紙トレイにセットされていますか？	用紙のカールを手でなおして、給紙トレイにセットしなおしてください。
コピーした用紙が反っている。	お使いになる用紙(再生紙など)によっては反りが発生する場合があります。	給紙トレイにセットされている用紙を裏返してセットしなおしてください。
		吸湿していない、新しい用紙に交換してください。
画像の周りが汚れる。	原稿押えパッドが汚れていませんか？	柔らかな布に中性洗剤をつけ、原稿押えパッドを清掃してください。
	原稿サイズより大きな用紙を選んでいませんか？(等倍 100.0% コピー時)	原稿と同じサイズの用紙を選んでください。 または、コピーのトップ画面で [倍率] をタップして [自動] を選び、用紙に合わせた倍率で拡大コピーをしてください。
	原稿サイズと用紙の向きが違っていませんか？(等倍 100.0% コピー時)	原稿と同じサイズの用紙を選んでください。 または、原稿と同じ向きに用紙をセットしなおしてください。
	用紙サイズに合った縮小コピー倍率を選んでいませんか？(縮小コピー倍率手動入力時)	用紙サイズにあった倍率を選んでください。 または、コピーのトップ画面で [倍率] をタップして [自動] を選び、用紙に合わせた倍率で、縮小コピーをしてください。
両面>片面、両面>両面機能にならない。	組み合わせできない設定を選んでいませんか？	選んでいる設定の組み合わせをご確認ください。
部門管理設定をしている装置でパスワードを入力してもコピーできない。	[部門別カウンターが上限値です] が表示されていますか？	管理責任者にご確認ください。
ステープルの位置が 90 度ずれる。	ステープルの位置指定は合っていますか？	ステープルの位置を正しい位置に指定してください。ステープルの設定については、「ユーザーズガイド [コピー機能] / [コピーした用紙をとじる]」をごらんください。
排紙される用紙が均一に積載されず、パンチ穴やステープルの位置がずれる。	用紙が大きくカールしていませんか？	給紙トレイ内にセットされている用紙を、裏表逆にセットしてください。
	用紙をセットしている給紙トレイのガイド板と用紙の間に隙間がありませんか？	給紙トレイのガイド板を用紙に突き当て、隙間ができないようにしてください。
	用紙の種類が正しく設定されていますか？	選択トレイの用紙種類を正しく設定してください。

9.2 おもなメッセージと処理のしかた

メッセージ	原因	処理のしかた
[原稿ガラス上に原稿が残っています。]	原稿ガラスに原稿を置忘れてあります。	原稿ガラスの原稿を取除いてください。
[最適用紙がありません。用紙を選択してください。]	適合するサイズの内紙が給紙トレイにセットされていません。	他のサイズの内紙を選択するか、適合するサイズの内紙をセットしてください。
[手差しに用紙をセットしてください。]	適合するサイズの内紙が手差しトレイにセットされていません。	適合するサイズの内紙を手差しトレイにセットしてください。
[原稿サイズが自動検出できません。用紙を選択してください。]	(1) 原稿が正しくセットされていません。 (2) 不定形サイズまたは、検出できない小サイズの原稿を使用しています。 (3) 濃い(黒い)原稿は正しく検出できない場合があります。	(1) 原稿を正しくセットしてください。 (2) 用紙を選択して、コピーしてください。
[用紙に画像が収まりません。原稿の方向を変えてセットしなおしてください。]	画像が用紙に収まらない向きに原稿がセットされています。	原稿を90度回転させて、セットしなおしてください。
[排紙トレイの内紙を取り除く必要があります。→のトレイの内紙を取り除いてください。継続キーで再開、削除キーでジョブ削除できます]	→が表示されているフィニッシャー、ジョブセパレーターの排紙トレイの容量が最大積載量に達したため、コピーができません。	→が表示されているトレイ上の用紙をすべて取除いてください。
[ログインするユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] キーまたは [ID] キーを押してください。]	ユーザー認証されています。ユーザー名と正しいパスワードを入力しないと、コピーはできません。	ユーザー名と正しいパスワードを入力してください。
[ログインする部門名とパスワードを入力し、[ログイン] キーまたは [ID] キーを押してください。]	部門管理されています。部門名と正しいパスワードを入力しないと、コピーはできません。	部門名と正しいパスワードを入力してください。
[部門別カウンターが上限値です。]	部門で印刷できる枚数が制限されており、その上限に達しました。	本機の管理者に連絡してください。
[→部が開いています。確実に閉めてください。]	本機のドアやカバーが開いているかオプションが確実に閉まっていないため、コピーができません。	→が表示されている本機のドアやカバー、オプションのドアやカバーを確実に閉めてください。
[トナーカートリッジをセットしてください]	トナーカートリッジが正しくセットされていません。	各消耗品および交換部品をセットしなおしてください。または、サービス実施店にご連絡ください。
[用紙を補給してください。]	表示されているトレイに用紙がありません。	表示されているトレイに用紙を補給してください。
[予備のトナーカートリッジを用意してください。]	トナーが残り少なくなりました。	保守契約に従って、予備のトナーカートリッジを用意してください。
[トナーカートリッジの交換時期です]	トナーが残り少なくなりました。	保守契約に従って、表示されているトナーカートリッジを交換してください。
[トナーがなくなりました。ガイダンス(説明)に従って、トナーカートリッジを交換してください]	トナーがなくなりました。	保守契約に従って、表示されているトナーカートリッジを交換してください。
[ステーブル針がありません。ステーブルカートリッジを交換するか、ステーブルを解除してください。]	ステーブル針がなくなりました。	ステーブルカートリッジを交換してください。

メッセージ	原因	処理のしかた
[紙づまりが発生しました。表示に従って、用紙を取り除いてください。詳しい方法は、ガイドンスで確認できます。]	紙づまりが発生したため、コピーができません。	ガイドンス（説明）に従って、つまっている用紙を取除いてください。
[パンチキットのくずボックスがいっぱいです。パンチくずを廃棄してください。]	(1) パンチくずがいっぱいになりました。 (2) パンチ廃棄ボックスがセットされていません。	(1) パンチ廃棄ボックス にたまったパンチくずを処理してください。 (2) パンチ廃棄ボックス をセットしてください。
[以下の原稿枚数を戻してください。] XX	紙づまり処理が終わったあと、ADFから排紙された原稿を戻す必要があります。	表示枚数の原稿をADFにセットしなおしてください。
[トラブルが検出されました。前下ドアを開閉して解除してください。解除できない場合は、サービスにトラブルコードを連絡してください。] (bizhub C658/C558/C458のみ)	本機に何らかのトラブルが発生し、コピーできません。	画面のメッセージに従って、トラブル処理をしてください。処理または解除できない場合は、画面に表示されているトラブルコードをサービス実施店にご連絡ください。
[トラブルが検出されました。前ドアを開閉して解除してください。解除できない場合は、サービスにトラブルコードを連絡してください。] (MFX-C3690N/C3090N/C2590Nのみ)		
[トラブルが検出されました。主電源をOFF/ONして解除してください。解除できない場合は、サービスにトラブルコードを連絡してください。]		
[トラブルが検出されました。サービスにトラブルコードを連絡してください。]	本機に何らかのトラブルが発生し、コピーできません。	画面に表示されているトラブルコードをサービス実施店にご連絡ください。
[ADF左側のスリットガラスを乾いた布で清掃してください。この状態のまま、操作を継続すると、出力画像に筋が発生する可能性があります。]	スリットガラスが汚れています。	スリットガラスを柔らかな布で乾拭きしてください。
[不正アクセスのため、入力した認証情報は無効です。管理者に連絡してください。]	認証に指定回数連続失敗したため、認証情報が無効となっています。	本機の管理者に連絡してください。
[ジョブログが上限に達しています。管理者に連絡してください。]	ジョブログの書き込み領域が上限に達しています。	Web Connection でジョブログの取得を行ってください。
[アニメーションガイドデータがありません。サービスに連絡してください。]	アニメーションガイドデータがインストールされていません。	アニメーションガイドデータのインストールについては、サービス実施店にご連絡ください。

10

ボックス保存できない

10 ボックス保存できない


10.1 ボックス保存できない

トラブルの内容	チェックポイント	対処方法
ボックスにファイルを保存できない。	ネットワークの設定や接続は正しいですか？	コンピューターからボックスにファイルを保存するには、ネットワークが正しく設定されている必要があります。ネットワークの設定や接続を確認してください。 ネットワークの設定については、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。
	ボックスの容量がいっぱいになっていませんか？	ボックスの容量がいっぱいの場合、不要なファイルを削除してから、保存し直してください。 ボックスの不要なファイルを削除する方法については、10-4 ページをごらんください。
	保存できるファイル数の上限を超えていませんか？	ひとつのボックスに保存できるファイルの上限を超えている場合は、不要なファイルを削除してから、保存し直してください。 ボックスの不要なファイルを削除する方法については、10-4 ページをごらんください。

10.2 おもなメッセージと処理のしかた

メッセージ	原因	処理のしかた
[サーバーに接続できませんでした]	(1) ネットワークケーブルが正しく接続されていません。 (2) [管理者設定] の [ネットワーク設定] が正しく設定されていません。	(1) ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。 (2) [管理者設定] の [ネットワーク設定] が正しく設定されているか確認してください。
[同報可能件数を越えたため指定した通信方式の宛先は選択できません。]	同報可能件数をこえて宛先を指定しています。	同報宛先の数を減らし、数回に分けて指定してください。
[HDD 容量オーバーのため、ボックスに文書を保存できませんでした。履歴を確認してください]	ハードディスクがいっぱいになりました。	不要なデータを削除してから保存しなおしてください。
[ボックス登録数が上限に達しているため、ボックスを作成できません。]	登録できるボックスの上限をこえています。	不要なボックスを削除してから登録しなおしてください。
[ボックス内の文書数が上限に達しているため、実行できません。]	ひとつのボックスに登録できるドキュメントの上限をこえています。	不要なドキュメントを削除してから登録しなおしてください。
[ボックスに登録しているページ数が上限値です]	ひとつのボックスに登録できる文書ページ数の上限を越えています。	不要な文書を削除してから登録しなおしてください。
[ジョブの登録が上限値です登録中のジョブが終了するまでしばらくお待ちください]	登録されているジョブの上限をこえています。	終了するまで待つか、現在のジョブを削除してください。

10.3 ボックスのファイルを削除する

- 1 トップメニューの [ボックス] をタップします。
- 2 目的のボックスを選んで、[開く] をタップします。
→ 目的のボックスをダブルタップして開くこともできます。
- 3 削除するファイルを選んで、[削除] をタップします。
→ ファイルをロングタップしてメニューアイコンを表示し、 にドラッグ&ドロップすることで同じ操作ができます。
- 4 [はい] をタップします。

11

ユーザー認証できない

11 ユーザー認証できない

11.1 サーバー認証できない

トラブルの内容	チェックポイント	対処方法
外部サーバー認証できない。	サーバーと本機の日時は一致していますか？	サーバーと本機の日時を合わせてください。 本機の日時設定について詳しくは、「ユーザーズガイド [Web 設定ツール] / [本機の基本情報を設定する]」をごらんください。
	ホスト名で名前解決できますか？	DNS サーバーのアドレスを入力してください。詳しくは、「ユーザーズガイド [Web 設定ツール] / [本機のネットワーク設定をする]」をごらんください。 DNS ドメイン名を入力してください。詳しくは、「ユーザーズガイド [Web 設定ツール] / [本機のネットワーク設定をする]」をごらんください。
拡張サーバー認証できない。	管理者パスワードは設定されていますか？	管理者パスワードを設定してください。詳しくは、「ユーザーズガイド [Web 設定ツール] / [Web Connection の使用環境を設定する]」をごらんください。
	デバイス証明書はインストールされていますか？	デバイス証明書を自己作成してください。詳しくは、「ユーザーズガイド [Web 設定ツール] / [セキュリティを強化する]」をごらんください。
	SSL 通信は有効に設定されていますか？	[OpenAPI 設定] で、[SSL/TLS 使用] を [SSL 通信のみ可] に設定します。詳しくは、「ユーザーズガイド [Web 設定ツール] / [外部のアプリケーションと連携する]」をごらんください。 [TCP Socket 設定] で、[SSL/TLS 使用] を有効 (チェックをつける) に設定し、本機を再起動します。詳しくは、「ユーザーズガイド [Web 設定ツール] / [外部のアプリケーションと連携する]」をごらんください。

12 ネットワークエラーコード

12 ネットワークエラーコード

12.1 ネットワークエラーコードとは

ネットワークでエラーが発生したときに表示されるコードです。エラーコードリスト等でコードを参照することで、エラーの内容やその対処方法を確認できます。

12.2 ネットワークエラーコードを表示するには

Web Connection を使って、ネットワークエラーコードを表示するように設定できます。詳しくは、「ユーザズガイド [Web 設定ツール] / [本機のネットワーク設定をする]」をごらんください。



参考

- 送信、受信条件により、エラー画面が表示されない場合があります。正しく送受信できない場合は、[ジョブ表示] - [詳細] でネットワークエラーコードを確認してください。

12.3 エラーコードリスト

LAN (IEEE802.1X)

コード	説明
1	すでに接続処理中である。
2	設定値エラー。
3	接続先 AP が見つからない (SSID)。
5	EAP メソッドのネゴシエーションに失敗した。
6	EAP 認証に失敗した (ユーザー ID、パスワード、証明書等)。
10	サーバー証明書の検証エラー (EAP-TLS/EAP-TTLS/PEAP)。
14	Phase2 メソッドのネゴシエーションに失敗した (PEAP)。
15	サーバーからの応答がタイムアウトした。
17	サブリカントタスクの起動に失敗した。
19	サーバー証明書の期限切れ (EAP-TLS/EAP-TTLS/PEAP)。
20	サーバー証明書の CA 検証のエラー (EAP-TLS/EAP-TTLS/PEAP)。
21	サーバー証明書のサーバー ID 検証のエラー (EAP-TLS/EAP-TTLS/PEAP)。
24	設定の組み合わせが正常である。
25	接続および認証が完了した。
31	サーバー証明書の形式が正しくない (EAP-TLS/EAP-TTLS/PEAP)。
33	証明書検証 (PKI) 機能におけるストレージパスが未設定 (EAP-TLS/EAP-TTLS/PEAP) である。
34	証明書検証 (PKI) 機能における多重処理過多状態 (EAP-TLS/EAP-TTLS/PEAP) である。
35	証明書のパラメータエラー (EAP-TLS/EAP-TTLS/PEAP)。
36	証明書検証 (PKI) 機能の内部エラー (EAP-TLS/EAP-TTLS/PEAP)。

LDAP

コード	説明
1	不正な操作をした。
2	プロトコルエラーが発生した。
3	時間の制限を超えた。
4	検索結果が最大件数を超えた。
5	比較の結果が FALSE である。
6	比較の結果が TRUE である。
7	LDAP サーバーが SASL をサポートしていない。
8	強力な認証が必要である。
10	Referral が設定されているが、参照先へたどれない。
11	サーバーでの管理制限を超えた。
12	重要な拡張機能が使用できない。
13	機密性が必要である。
14	マルチステージ バインド用の中間バインドの結果。
15	要求された属性が存在しない。
16	未定義のタイプである。
17	一致の方法が不適切である。
18	制限の違反が発生した。

コード	説明
19	属性または値は既に存在している。
20	構文が無効である。
32	検索ルートが見つからない。
33	エイリアスが無効である。
34	DN 名の構文が無効である。
35	オブジェクトが終端 (リーフ) である。
36	エイリアスを展開できない。
48	認証が不適切である。
49	LDAP サーバーへのログインに失敗した。
50	ユーザーの権限が不十分である。
51	サーバーがビジーである。
52	サーバーを利用できない。
53	サーバーがディレクトリ要求を受付けない。
54	参照チェーンが元のサーバーを参照している。
64	名前付けの違反が発生した。
65	オブジェクト クラスの違反が発生した。
66	この操作は終端以外 (非リーフ) のオブジェクトでは実行できない。
67	この操作は相対識別名 (RDN) では実行できない。
68	オブジェクトは既に存在している。
69	オブジェクト クラスを変更できない。
70	結果のサイズが大きすぎる。
71	複数のディレクトリサービスエージェント (DSA) に影響が生じる。
80	予期しないエラーが発生した。
81	LDAP サーバーに接続できない。
82	内部エラーが発生した。
83	エンコードエラーが発生した。
84	デコードエラーが発生した。
85	接続がタイムアウトした。
86	サポートする SASL が LDAP サーバー側と一致しない。
87	検索フィルタが正しくない。
88	ユーザーによりキャンセルされた。
89	内部パラメーターエラー。
90	メモリーの確保に失敗した。
91	LDAP サーバーに接続できない。
92	サポートする LDAP のバージョンが LDAP サーバー側と一致しない。
93	指定されたコントロールを LDAP 関数で見つけられない。
94	メッセージ中に結果が存在しない。
95	結果が余分に返された。
96	クライアントでループが検出された。
97	参照回数の制限を超えた。
128	DNS サーバーによる LDAP サーバーの名前解決に失敗した。
129	LDAP サーバーの証明書の有効期限が切れている。
130	GSS-SPNEGO (Kerberos v5) での相互認証に失敗した。
131	検索結果が残っている。

コード	説明
132	リセットにより処理が中断された。
2238	LDAP サーバーの証明書の CN フィールドとサーバーのアドレスが一致しない。
2239	LDAP サーバーの証明書はサーバーとして期待された用法を持っていない。
2240	LDAP サーバーの証明書を信頼できない。証明書を信頼するためにはシステムに証明書を登録する必要がある。
2241	LDAP サーバーの証明書が失効している。
2242	CA サーバーに接続を拒否された。
2243	証明書の失効確認のサーバーへの接続がタイムアウトした。
2244	CRL のサイズが保持可能なサイズ (1MB) を超えたので失効確認ができない。
2261	LDAP サーバーの証明書の形式が不正である。
2263	ストレージが未設定である。
2264	現在検証中の証明書が多すぎて検証を行えない (同時に検証できる証明書の数は 20)。
2266	証明書検証 / 管理モジュールの内部エラー。
2267	デバイス証明書が存在しない。
2268	相手から証明書が送られてこない。
10000	PKI カード (PKI トークン) による認証に失敗した。
12236	チケットの証明書の期限切れ。
12239	チケットの証明書はサーバーとして期待された用法を持っていない。
12240	チケットの証明書を信頼できない。証明書を信頼するためにはシステムに証明書を登録する必要がある。
12241	チケットの証明書が失効している。
12242	CA サーバーに接続を拒否された。
12243	証明書の失効確認のサーバーへの接続がタイムアウトした。
12244	CRL のサイズが保持可能なサイズ (1MB) を超えたので失効確認ができない。
12261	チケットの証明書の形式が不正である。
12263	ストレージが未設定である。
12264	現在検証中の証明書が多すぎて検証を行えない (同時に検証できる証明書の数は 20)。
12266	証明書検証 / 管理モジュールの内部エラー。

受信 (E-mail / インターネットファクス)

コード	説明
-1	メール受信に失敗した。
-2	メール受信中のため受信要求をブロックした。
1	メールサーバーへのログインに失敗した。
2	内部エラーが発生した。
3	サーバーへの接続に失敗した。
4	接続がタイムアウトした。
5	MIME フォーマットまたは S/MIME フォーマットの不正により復号化に失敗した。
6	メモリーの確保に失敗した。
7	ジョブ ID が不正である。
9	メールの削除に失敗した。
10	メールボックスが一杯である。
11	証明書の検索に失敗した。
12	デバイス証明書または秘密鍵の取得に失敗した。
13	I/O エラーが発生した。 ストレージの動作不良または容量が不足している可能性がある。
14	S/MIME 機能が無効である。
15	ストレージが無効である。
16	メール送信者の証明書の形式が不正である。
2236	証明書の有効期限切れ、または、まだ有効期限が来ていない。
2238	証明書の CN フィールドとサーバーのアドレスが一致しない。
2239	証明書は期待された用法を持っていない。
2240	証明書を信頼できない。証明書を信頼するためにはシステムに証明書を登録する必要がある。
2241	証明書が失効している。
2242	CA サーバーに接続を拒否された。
2243	証明書の失効確認のサーバーへの接続がタイムアウトした。
2244	CRL のサイズが保持可能なサイズ (1MB) を超えたので失効確認ができない。
2261	証明書の形式が不正である。
2263	証明書検証の初期化に失敗した。
2264	現在検証中の証明書が多すぎて検証を行えない (同時に検証できる証明書の数は 20)。
2266	証明書検証の内部エラー。
2267	デバイス証明書が存在しない。
2268	サーバーから証明書が送られてこない。

FTP 送信

コード	説明
11	ネットワーク処理がビジー状態である。
22	パラメータエラー（ファイル名が NULL 等）。
27	パラメータが不正である。
92	指定されたプロトコルを利用できない。
100	ネットワークにつながっていない。
102	リセットにより処理が中断された。
105	メモリーの確保に失敗した。
106	すでに FTP コネクションがオープンされている。
107	サーバーへの接続に失敗した。
110	接続がタイムアウトした。
111	接続が切断された。
450	ファイル削除操作が行なわれなかった。
451	ファイル転送に失敗した（サーバーの容量不足等）。
452	ファイル転送に失敗した（サーバーの容量不足等）。
530	ログイン名およびパスワードが誤っている。
550	指定されたフォルダーが存在しない。
552	ファイル操作に失敗した（サーバーの容量不足等）。
1001	フォルダー作成に失敗した。

SMB 送信

コード	説明
-2	接続が切れているため操作に失敗した。
11	ネットワーク処理がビジー状態である。
92	プロトコルが初期化されていない。
100	ネットワークにつながっていない。 コネクションが切断された。
102	転送中にネットワークがリセットされた。
105	I/O バッファ不足が発生した。
107	サーバーへの接続に失敗した。
4096	ホスト名が指定されていない。 指定されたホスト名がネットワーク内に存在しない。
4097	ユーザー名が指定されていない。 指定されたユーザー名およびパスワードでログインできない。 ユーザーがフォルダーへの書き込み権限を持っていない。 SMB プロトコルのエラーのためログインに失敗した。
4098	フォルダー名が指定されていない。 指定されたフォルダーが存在しない。
4099	ユーザー名が指定されていない。 指定されたユーザー名およびパスワードでログインできない。 ユーザーがフォルダーへの書き込み権限を持っていない。 SMB プロトコルのエラーのためログインに失敗した。
4100	指定されたファイル名が不正である。
10000	PKI カード (PKI トークン) による認証に失敗した。
12236	証明書の有効期限切れ、または、まだ有効期限が来ていない。
12239	証明書の目的が間違っている。

コード	説明
12240	信頼できない CA、もしくは、未登録の CA である。
12241	証明書が失効している。
12242	CA サーバーに接続を拒否された。
12243	証明書の失効確認のサーバーへの接続がタイムアウトした。
12244	失効リストのサイズが大きすぎる。
12263	証明書検証の初期化失敗。
12264	現在検証中の証明書が多すぎて検証を行えない (同時に検証できる証明書の数は 20)。
12266	証明書検証の内部エラー。
12267	デバイス証明書が存在しない。
12268	サーバーから証明書が送られてこない。
16711683	ライブラリ内部エラー (パラメータエラー)。
16711701	SMB 署名検証エラー。
16711703	サーバーとの接続に失敗した。
16711707	DFS 解決エラー。
16711713	ログインに失敗した。
16712581	ライブラリ内部エラー (メモリ不足) により失敗した。
16712683	フォルダパスが不正である。 ホスト名解決エラー。
16712685	ユーザー名が指定されていない。 指定されたユーザー/パスワードでログインできなかった。 ユーザーはフォルダに書き込み権限を持たない SMB プロトコルでのエラーのため、ログインに失敗した。
16712688	ライブラリ内部エラー (メモリ不足) により失敗した。
16712691	パケットフォーマットエラー。
16712692	フォルダーの書き込み権限がない。 アクセスが拒否された。
16712712	接続先の共有パスが間違っている。
16712713	ファイルがロックされている。
16712767	要求したファイルはディレクトリではない。
16712803	名前が不正である。
16712825	ディレクトリが空ではない。
16712863	同じ名前のファイル/フォルダが存在し上書きできない。
16713768	オペレーションタイムアウトエラー。
16714679	サポートしていない機能を要求した。またはサポートしていない機能を要求された。
16714699	ファイルの書き込み属性がない。
16714719	サーバーに空き容量がない。
16715690	ライブラリ内部エラー (パラメータエラー)。
16713686	指定したサーバー名が不正である。

送信 (E-mail/ インターネットファクス /IP アドレスファクス)

コード	説明
11	ネットワーク処理がビジー状態である。
22	引数が無効である。
27	ファイルサイズが大きすぎる。
28	デバイスの空き容量が不足している。
32	パイプが壊れている。
92	指定されたプロトコルを利用できない。
100	ネットワークにつながっていない。
101	宛先ネットワークに到達できない。
102	接続がネットワーク側から中断された。
105	バッファ不足が発生した。
107	クライアントから接続されていない。
108	接続が切断された。
110	操作がタイムアウトした。
111	接続が拒否された。
112	ホストがダウンしている。
421	SMTP サーバーエラー。サービスが利用できないので転送チャンネルを閉じる。
432	SMTP サーバーエラー。 パスワードの変更が必要である。
450	SMTP サーバーエラー。 メールボックスを利用できない。
451	SMTP サーバーエラー。 処理中のエラーにより要求されたアクションが中止された。
452	SMTP サーバーエラー。 システムのストレージが足りない。
453	SMTP サーバーエラー。 メールがない。
454	SMTP サーバーエラー。 一時的な認証失敗。
458	SMTP サーバーエラー。 ノード宛のメッセージをキューできない。
459	SMTP サーバーエラー。 ノードが許可されていない。
499	SMTP サーバーエラー。 SMTP サーバーから未対応の 400 番台の SMTP エラーコードを受信した。
500	SMTP サーバーエラー。 構文エラー (コマンドを解釈できない)。
501	SMTP サーバーエラー。 パラメータや引数の構文エラー。
502	SMTP サーバーエラー。 コマンドが実装されていない。
503	SMTP サーバーエラー。 コマンドの並びが悪い。
504	SMTP サーバーエラー。 コマンドパラメータが実装されていない。
521	SMTP サーバーエラー。 メールを受取らない。
530	SMTP サーバーエラー。 アクセスが拒否された。

コード	説明
534	SMTP サーバーエラー。 認証メカニズムが弱すぎる。
535	SMTP サーバーエラー。 認証エラー。
538	SMTP サーバーエラー。 要求された認証メカニズムには暗号化が必要である。
550	SMTP サーバーエラー。 要求されたアクションは実行されない。
551	SMTP サーバーエラー。 ユーザーがローカルでない。
552	SMTP サーバーエラー。 要求されたメールアクションが中止された。
553	SMTP サーバーエラー。 要求されたアクションが受け入れられない。
554	SMTP サーバーエラーまたは送信時の内部エラー。 トランザクションに失敗した。
555	SMTP サーバーエラー。 MAIL/RCPT のパラメータエラー。
599	SMTP サーバーエラー。 SMTP サーバーから未対応の 500 番台の SMTP エラーコードを受信した。
2236	証明書の有効期限切れ、または、まだ有効期限が来ていない。
2238	証明書の CN フィールドとサーバーのアドレスが一致しない。
2239	証明書は期待された用法を持っていない。
2240	証明書を信頼できない。証明書を信頼するためにはシステムに証明書を登録する必要がある。
2241	証明書が失効している。
2242	CA サーバーに接続を拒否された。
2243	証明書の失効確認のサーバーへの接続がタイムアウトした。
2244	CRL のサイズが保持可能なサイズ (1MB) を超えたので失効確認ができない。
2261	証明書の形式が不正である。
2263	証明書検証の初期化に失敗した。
2264	現在検証中の証明書が多すぎて検証を行えない (同時に検証できる証明書の数は 20)。
2266	証明書検証の内部エラー。
2267	デバイス証明書が存在しない。
2268	サーバーから証明書が送られてこない。
3000	予期しないエラーが発生した。
3001	使用しているライブラリ内で予期しないエラーが発生した。
3002	無効なチャンネルが指定された。
3003	SMTP サーバーアドレスが不正である。
3004	パラメータエラー (MIMEBodyHeader)。
3005	パラメータエラー (DisplayName)。
3006	パラメータエラー (キャラクタセット)。
3007	パラメータエラー (From アドレス)。
3008	パラメータエラー (To アドレス)。
3009	パラメータエラー (CC アドレス)。
3010	パラメータエラー (BCC アドレス)。
3011	パラメータエラー (EmailSet が NULL)。
3012	パラメータエラー (宛先証明書が NULL)。

コード	説明
3013	パラメータエラー (メール本文)。
3014	ストレージが無効である。
3015	S/MIME 機能が無効である。
3016	自己証明書エラー、デバイスの証明書が S/MIME で使用できない。暗号鍵の種類が RSA ではない場合などが考えられる。
3018	不正な暗号アルゴリズムが指定されている。
3019	不正な署名アルゴリズムが指定されている。
3020	宛先証明書内のメールアドレスと宛先アドレス (To/Cc/Bcc) が一致しない。
3021	証明書内のメールアドレスと送信者 (From) アドレスが一致しない。
3022	証明書の書式エラー。
3023	パラメータエラー (Disposition-Notification-To)。
3024	受信側のメッセージ解析エラー。
3025	SMTP サーバーが STARTTLS コマンドに対応していない。
3026	PKI カードアクセスエラー。
3027	パラメータエラー (SMTP 認証方式)。
3028	パラメータエラー (PIN コード)。
3029	チケットの取得に失敗した。
10000	PKI カード (PKI トークン) による認証に失敗した。
12236	サーバー証明書の有効期限は無効である。
12239	証明書はサーバーとして期待された用法を持っていない。
12240	証明書を信頼できない。証明書を信頼するためにはシステムに証明書を登録する必要がある。
12241	証明書が失効している。
12242	CA サーバーに接続を拒否された。
12243	証明書の失効確認のサーバーへの接続がタイムアウトした。
12244	CRL のサイズが保持可能なサイズ (1MB) を超えたので失効確認ができない。
12261	証明書の形式が不正である。
12263	ストレージを使用する環境だが、ストレージのパスが未設定のため検証を行えない。
12264	現在検証中の証明書が多すぎて検証を行えない (同時に検証できる証明書の数は 20)。
12266	証明書検証/管理モジュールの内部エラー。

WebDAV 送信

コード	説明
11	ネットワーク処理がビジー状態である。
22	書き込み先リソースの URL のフォーマットが不正である。パラメータエラー。
27	転送コーディングで、転送可能な最大サイズ以上のデータを送信しようとした。
92	WebDAV 送信は無効状態である。
100	ネットワークにつながっていない。
102	リセットにより処理が中断された。
105	バッファ不足が発生した。
106	すでに接続済みである。
107	WebDAV サーバーへの接続に失敗した (接続タイムアウト含む)。
125	指定されたサイズに足りない状態で接続が切断された。
401	認証エラー。
407	プロキシの認証エラー。
1001	サーバーが WebDAV に対応していない。 サーバーにアップロードできない。
1002	中間リソースがコレクション (ディレクトリ) でない (指定したフォルダーがない場合等)。
1003	対象リソースがコレクション (ディレクトリ) である。
1012	リソースの URL に "https" が指定されたが、WebDAV サーバーの証明書が期限切れのため接続を切断した。
1013	プロキシ経由で SSL 接続するために、プロキシサーバーに CONNECT メソッドを発行したが、拒否された。
1017	リクエスト送信中に通信エラーが発生した。
1018	レスポンス受信中に通信エラーが発生した。
1027	転送可能なサイズの上限を超えている。
1030	プロキシを使用する設定になっているがプロキシの設定情報がない。
1031	プロキシサーバーへの接続に失敗した (接続タイムアウト含む)。
1040	チケットの取得に失敗した。
1098	SharePoint Server にチャンク送信して失敗した。
1099	その他、内部エラーが発生した (メモリー不足など)。
2236	証明書の有効期限切れ、または、まだ有効期限が来ていない。
2238	証明書の CN フィールドとサーバーのアドレスが一致しない。
2239	証明書は期待された用法を持っていない。
2240	証明書を信頼できない。証明書を信頼するためにはシステムに証明書を登録する必要がある。
2241	証明書が失効している。
2242	CA サーバーに接続を拒否された。
2243	証明書の失効確認のサーバーへの接続がタイムアウトした。
2244	CRL のサイズが保持可能なサイズ (1MB) を超えたので失効確認ができない。
2261	証明書の形式が不正である。
2263	証明書検証の初期化に失敗した。
2264	現在検証中の証明書が多すぎて検証を行えない (同時に検証できる証明書の数は 20)。
2265	パラメーターエラー。
2266	証明書検証の内部エラー。
2267	デバイス証明書が存在しない。

コード	説明
2268	サーバーから証明書が送られてこない。
10000	PKI カード (PKI トークン) による認証に失敗した。
12236	サーバー証明書の有効期限は無効である。
12239	証明書はサーバーとして期待された用法を持っていない。
12240	証明書を信頼できない。証明書を信頼するためにはシステムに証明書を登録する必要がある。
12241	証明書が失効している。
12242	CA サーバーに接続を拒否された。
12243	証明書の失効確認のサーバーへの接続がタイムアウトした。
12244	CRL のサイズが保持可能なサイズ (1MB) を超えたので失効確認ができない。
12261	証明書の形式が不正である。
12263	ストレージを使用する環境だが、ストレージのパスが未設定のため検証を行えない。
12264	現在検証中の証明書が多すぎて検証が行えない (同時に検証できる証明書の数は 20)。
12266	証明書検証/管理モジュールの内部エラー。

SMB ブラウジング

コード	説明
-2	接続が切れているため操作に失敗した。
32	接続が切断された。
92	指定されたプロトコルを利用できない。
100	ネットワークにつながっていない。 通信直前に内部チャンネルが異常を検出した。
107	サーバーとの接続に失敗した。
4096	グループ名/ホスト名が指定されていない。 指定したグループ名/ホスト名がネットワークに存在しない。
4105	その他、エラーコードが割当てられていないエラー。
4352	ブラウザマシン (マスタブラウザ/バックアップブラウザ) が見つからない。
4353	ブラウザマシン (マスタブラウザ/バックアップブラウザ) にログインできない。
4354	サブフォルダーが存在しない。
4355	不正な呼び出しシーケンス等でリクエストが受け付けられない。
4368	グループ数が多すぎる。
4369	ホスト PC 数が多すぎる。
4370	共有リソース数が多すぎる。
10000	PKI カード (PKI トークン) による認証に失敗した。
12236	証明書の有効期限切れ、または、まだ有効期限が来ていない。
12239	証明書の目的が間違っている。
12240	信頼できない CA、もしくは、未登録の CA である。
12241	証明書が失効している。
12242	CA サーバーに接続を拒否された。
12243	証明書の失効確認のサーバーへの接続がタイムアウトした。
12244	失効リストのサイズが大きすぎる。
12263	証明書検証の初期化失敗 (証明書を保存するストレージのパスが未設定である)。
12264	現在検証中の証明書が多すぎて検証を行えない (同時に検証できる証明書の数は 20)。
12266	証明書検証の内部エラー。
12267	デバイス証明書が存在しない。

コード	説明
12268	サーバーから証明書が送られてこない。
16711683	ライブラリ内部エラー (パラメータエラー)。
16711701	SMB 署名検証エラー。
16711703	サーバーとの接続に失敗した。
16711707	DFS 解決エラー。
16712581	ライブラリ内部エラー (メモリ不足) により失敗した。
16712683	フォルダパスが不正である。 ホスト名解決エラー。
16712685	ユーザー名が指定されていない。 指定されたユーザー/パスワードでログインできなかった。 ユーザーはフォルダに書き込み権限を持たない SMB プロトコルでのエラーのため、ログインに失敗した。
16712688	ライブラリ内部エラー (メモリ不足) により失敗した。
16712691	パケットフォーマットエラー。
16712692	フォルダーの書き込み権限がない。 アクセスが拒否された。
16712712	接続先の共有パスが間違っている。
16712713	ファイルがロックされている。
16713768	オペレーションタイムアウトエラー。
16714679	サポートしていない機能を要求した。またはサポートしていない機能を要求された。
16714699	ファイルの書き込み属性がない。
16715690	ライブラリ内部エラー (パラメータエラー)。

ユーザー認証

コード	説明
1	パラメータが正しくない(文字数オーバー、空欄等)。認証機能の設定が無効である。
2	DNS サーバーによる名前解決に失敗した。
3	認証サーバーが見つからない。
4	認証に失敗した。
5	メモリーの確保に失敗した。予期しないエラーが発生した。
6	ユーザー認証クライアントの内部タスクが動作中に認証要求を受取った。
7	ユーザー認証動作中にネットワークがリセットされた。
8	メモリーの確保に失敗した。
9	タイムアウトが発生した。
10000	PKI カード (PKI トークン) による認証に失敗した。
12236	SSL 証明書の期限が有効でない。
12239	証明書は期待された用法を持っていない。
12240	証明書を信頼できない。証明書を信頼するためにはシステムに証明書を登録する必要がある。
12241	証明書が失効している。
12242	CA サーバーに接続を拒否された。
12243	証明書の失効確認のサーバーへの接続がタイムアウトした。
12244	CRL のサイズが保持可能なサイズ (1MB) を超えたので失効確認ができない。
12261	証明書の形式が不正である。
12263	ストレージが未設定である。
12264	現在検証中の証明書が多すぎて検証を行えない (同時に検証できる証明書数は 20)。
12266	証明書検証の内部エラー。

WebDAV クライアント/リモートパネル

コード	説明
2	オープンしていないクライアント ID が指定された。
3	(レスポンス受信) 受信タイムアウトが発生した。 (リクエスト送信) サポートしていないリクエストメソッドが指定された。
4	(レスポンス受信) 受信エラーが発生した。または、不正なリクエスト URL が指定された。 (リクエスト送信) 不正なリクエスト URL が指定された。
5	(レスポンス受信) Content-Length または受信サイズが転送可能な最大サイズを超えた。または、メッセージボディのサイズが大きすぎる。 (リクエスト送信) メッセージボディのサイズが大きすぎる。
6	(レスポンス受信) リセットにより処理が中断された。または、メッセージボディのサイズが転送可能な最大サイズを超えた。 (リクエスト送信) メッセージボディのサイズが転送可能な最大サイズを超えた。
7	(レスポンス受信) 内部エラーが発生した。または、内部リセットにより処理が中断された。 (リクエスト送信) 内部リセットにより処理が中断された。
8	WebDAV サーバーへの接続に失敗した。
9	WebDAV サーバーへの送信中にエラーが発生した
10	WebDAV サーバーへの送信中にタイムアウトが発生した。

コード	説明
11	プロキシサーバーへの接続に失敗した。
12	プロキシサーバーに接続要求を拒否された。
13	プロキシサーバーが有効に指定されているが、プロキシサーバーのホストが設定されていない。
14	プロキシサーバーの認証に失敗した。
15	その他のエラーがプロキシサーバーから返ってきた。
16	内部エラーが発生した。
17	デバイスアプリケーションから MIO_REQBODY_ERROR が指定されたため、処理を中断した。
18	不正な PIN コードが指定された。
19	チケットの取得に失敗した。
20	内部から指定されたパラメーターが不正である。
2236	証明書の有効期限切れ、または、まだ有効期限が来ていない。
2238	証明書の CN フィールドとサーバーのアドレスが一致しない。
2239	証明書は期待された用法を持っていない。
2240	証明書を信頼できない。証明書を信頼するためにはシステムに証明書を登録する必要がある。
2241	証明書が失効している。
2242	CA サーバーに接続を拒否された。
2243	証明書の失効確認のサーバーへの接続がタイムアウトした。
2244	CRL のサイズが保持可能なサイズ (1MB) を超えたので失効確認ができない。
2261	証明書の形式が不正である。
2263	証明書検証の初期化に失敗した。
2264	現在検証中の証明書が多すぎて検証を行えない (同時に検証できる証明書の数は 20)。
2266	証明書検証の内部エラー。
2267	デバイス証明書が存在しない。
2268	サーバーから証明書が送られてこない。
10000	PKI カード (PKI トークン) による認証に失敗した。
12236	サーバー証明書の有効期限は無効である。
12239	証明書はサーバーとして期待された用法を持っていない。
12240	証明書を信頼できない。証明書を信頼するためにはシステムに証明書を登録する必要がある。
12241	証明書が失効している。
12242	CA サーバーに接続を拒否された。
12243	証明書の失効確認のサーバーへの接続がタイムアウトした。
12244	CRL のサイズが保持可能なサイズ (1MB) を超えたので失効確認ができない。
12261	証明書の形式が不正である。
12263	ストレージを使用する環境だが、ストレージのパスが未設定のため検証を行えない。
12264	現在検証中の証明書が多すぎて検証が行えない (同時に検証できる証明書の数は 20)。
12266	証明書検証/管理モジュールの内部エラー。

WebService スキャン

コード	説明
1	指定されたクライアントが登録されていない。
2	パラメータが不正である。
3	Web サービスまたは WS スキャン機能が無効である。
4	ネットワークにつながっていない。
5	CP からの接続待ち状態である。
6	SSL 証明書の有効期限のチェックを行う場合に、接続先の SSL 証明書の期限が有効でない。
11	ネットワーク処理がビジー状態である。
22	引数が無効である。
92	Web サービスまたは WS スキャン機能が無効である。
102	リセットによりネットワーク接続が中断された。
103	接続が切断された。
105	メモリーの確保に失敗した。
107	クライアントから接続されていない。
110	操作がタイムアウトした。
125	RetrieveImage 待ちタイムアウトが発生した。
2236	SSL 証明書の期限が有効でない。
2238	証明書の CN フィールドとサーバーのアドレスが一致しない。
2239	証明書は期待された用法を持っていない。
2240	証明書を信頼できない。証明書を信頼するためにはシステムに証明書を登録する必要がある。
2241	証明書が失効している。
2242	証明書検証時に CA サーバーに接続できない。
2243	証明書検証時にタイムアウトが発生した。
2244	失効リストのサイズが大きすぎる。
2261	証明書の形式が不正である。
2263	ストレージのパスが未設定のため検証が行えない。
2264	現在検証中の証明書が多すぎて検証を行えない (同時に検証できる証明書の数は 20)。
2265	証明書検証のパラメータが不正である。
2266	証明書検証/管理モジュールの内部エラー。
2267	デバイス証明書が存在しない。
2268	相手から証明書が送られてこない。

分散スキャンサーバー送信

コード	説明
1	Action がサポートされていない。
2	指定されたパラメータが不正である。
3	Operation が失敗した。
4	ScanServer で一時的なエラーが発生した。
5	ScanServer で内部的なエラーが発生した。
6	無効なユーザーによる操作が行われたため、ScanServer からエラーが返された。
7	無効な要求が行われたため、ScanServer からエラーが返された。
8	2 次配信先アドレスがサポートされていない。
9	スキャンプロセスに配信先アドレスが含まれていない。
10	許可されていないユーザーのため、ScanServer からエラーが返された。
11	無効な動作を ScanServer に要求したため、ScanServer からエラーが返された。
12	登録されていないスキャンプロセスを ScanServer に送信したため、エラーが返された。
13	無効な動作を ScanServer に要求したため、ScanServer からエラーが返された。
14	サポートされていないフォーマットのため、ScanServer からエラーが返された。
2236	SSL 証明書の期限が有効でない。
2238	証明書の CN フィールドとサーバーのアドレスが不一致である。
2239	証明書は期待された用法を持っていない。
2240	証明書は信頼できなかった。証明書を信頼するためにはシステムに証明書を登録する必要がある。
2241	証明書は失効している。
2242	証明書検証時に CA サーバーに接続できない。
2243	証明書検証時にタイムアウトが発生した。
2244	失効リストのサイズが大きすぎる。
2261	証明書の形式が不正である。
2263	ストレージのバスが未設定のため、検証が行えない。
2264	現在検証中の証明書が多すぎて検証が行えない (同時に検証できる証明書の数は 20)。
2265	証明書検証のパラメータが不正である。
2266	証明書検証/管理モジュールの内部エラーである。
2267	デバイスの証明書が存在しない。
2268	相手から証明書が送られてこない。

シングルサインオン

コード	説明
513	メモリが不足している。
514	パラメータエラー。
515	既に使われている。
516	最大サービス登録数を超えている。
517	サービス名が不正である。
518	セキュリティコンテキスト数が最大数を超えた。
519	無効なセキュリティコンテキスト ID。
520	メッセージサイズ範囲エラー。
1025	継続が必要 (エラーではない)。

コード	説明
1026	資格情報（証明書）の有効期間が終了している。
1027	コンテキストの有効期間が終了している。
1028	サポートされていないセキュリティ機構。
1029	署名が不正である。
1030	トークンが不正である。
1031	トークンの重複検出。
1032	トークンが古すぎる。
1033	トークンの順序エラー。
2049	AD 接続または認証に失敗した。
2050	アカウントの作成に失敗した。
2051	パスワードの設定に失敗した。
2052	サービスプリンシパルの設定に失敗した。
4097	サービス鍵が見つからない。
4098	ファイル形式エラー。
4099	指定された Key tab は存在しない。
10000	PKI カード (PKI トークン) による認証に失敗した。
12236	サーバー証明書の有効期限は無効である。
12239	証明書はサーバーとして期待された用法を持っていない。
12240	証明書を信頼できない。証明書を信頼するためにはシステムに証明書を登録する必要がある。
12241	証明書が失効している。
12242	CA サーバーに接続を拒否された。
12243	証明書の失効確認のサーバーへの接続がタイムアウトした。
12244	CRL のサイズが保持可能なサイズ (1MB) を超えたので失効確認ができない。
12261	証明書の形式が不正である。
12263	ストレージを使用する環境だが、ストレージのパスが未設定のため検証を行えない。
12264	現在検証中の証明書が多すぎて検証が行えない (同時に検証できる証明書の数は 20)。
12266	証明書検証/管理モジュールの内部エラー。

無線 LAN (WPS)

コード	説明
1	タイムアウトが発生した。
2	ユーザーによりキャンセルされた。
3	その他のエラーが発生した。

13

サーバーとクライアント OS の
ビット数が違うとき

13 サーバーとクライアント OS のビット数が違うとき

プリントサーバーが Windows Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016 で、クライアントコンピューターと OS のビット数が異なる場合、プリントサーバーに追加ドライバーを正しくインストールできないことがあります。

この問題は、プリントサーバーに追加ドライバーをインストールするときに、異なるビット数の OS のセットアップ情報ファイル (ntprint.inf) を指定することで解決できます。

ここでは、プリントサーバーとは別のコンピューターにあるセットアップ情報ファイルを指定して、追加ドライバーをインストールする方法を説明します。



参考

- あらかじめ、プリントサーバーとは別のクライアントコンピューターを準備して、プリントサーバーとは違うビット数の OS をインストールしてください。
- プrintサーバー側で、クライアントコンピューターのシステムドライブを、ネットワークドライブとして割り当てます。あらかじめ、割り当てるドライブを共有するように設定する必要があります。

ここでは例として、プリントサーバーに Windows Server 2008 (32bit)、クライアントコンピューターに Windows 7 (64bit) をインストールした場合の操作について説明します。

- 1 クライアントコンピューターの OS がインストールされているドライブ (通常は C ドライブ) を、共有するように設定します。
- 2 手順 1 で共有したクライアントコンピューターのドライブ (例: 「C」) を、プリントサーバーでネットワークドライブ (例: 「z」) として割り当てます。
- 3 プrintサーバーに 32bitOS 用のドライバーをインストールします。
- 4 インストールしたドライバーのプロパティ画面を開きます。
- 5 [共有] タブを選び、[このプリンタを共有する] をチェックします。
- 6 [追加ドライバ] をクリックします。
追加ドライバー画面が表示されます。
- 7 [プロセッサ] の列の [x64] をチェックし、[OK] をクリックします。
- 8 64bitOS 用のドライバーがあるフォルダーを指定します。
セットアップ情報ファイルを要求する画面が表示されます。
- 9 [参照] をクリックし、ネットワークドライブを割り当てたクライアントコンピューターにある、セットアップ情報ファイル [ntprint.inf] を指定します。
 - 以下のファイルを指定します。
[z:\Windows\System32\DriverStore\FileRepository\ntprint.inf_xxx]
上記のパスで、「z」は割り当てたネットワークドライブです。また、最後の「_xxx」は、ドライバーのバージョンによって異なります。
 - お使いのクライアントコンピューターによっては、セットアップ情報ファイルが格納されている場所が異なる場合があります。[ntprint.inf] と同じ階層に [amd64] というフォルダーが存在する場合、その配下に 64bitOS 用のセットアップ情報ファイルを指定してください。また、32bit 用 OS のドライバーを追加インストールする場合は、[ntprint.inf] と同じ階層に [i386] というフォルダーがあるセットアップ情報ファイルを指定してください。
- 10 [開く] をクリックします。
インストールが開始されます。
- 11 インストールが完了したら、[閉じる] をクリックします。
これで、64bitOS 用のドライバーの追加インストールが完了しました。

14

消耗品交換や清掃メンテナンス
の表示が出たとき

14 消耗品交換や清掃メンテナンスの表示が出たとき

フィニッシャーのステープル針が無くなった場合

フィニッシャーのステープル針が無くなった場合は、交換をうながすメッセージが表示されます。本機内側のラベルを参照して、処理を行ってください。



参照

[ステープルカートリッジを交換してください。]と表示された場合の交換手順について詳しくは、「ユーザーズガイド [メンテナンス] / [消耗品を交換する]」をごらんください。

[サドルステープルカートリッジ 1、2 を交換してください。]と表示された場合の交換手順について詳しくは、「ユーザーズガイド [メンテナンス] / [消耗品を交換する]」をごらんください。

パンチくずがいっぱいになった場合

パンチくずがいっぱいになった場合は、パンチくずを廃棄するようメッセージが表示されます (ユーザー交換の場合)。

本機内側のラベルを参照して、処理を行ってください。



参照

フロアフィニッシャー / 中とじ機付フロアフィニッシャーでの処理手順について詳しくは、「ユーザーズガイド [メンテナンス] / [消耗品を交換する]」をごらんください。

インナーフィニッシャーでの処理手順について詳しくは、「ユーザーズガイド [メンテナンス] / [消耗品を交換する]」をごらんください。

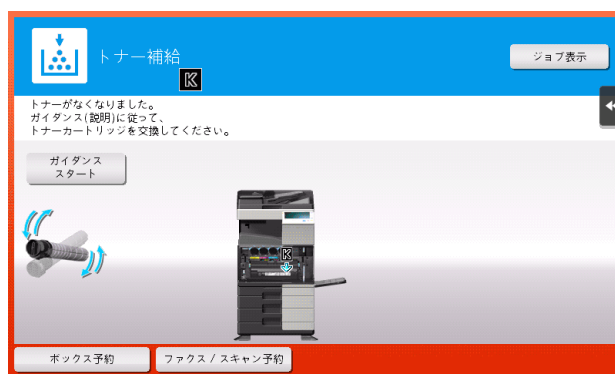
トナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなった場合

トナーカートリッジの交換時期が近づくと、交換時期が近づいていることをお知らせするメッセージが表示されます。保守契約に従って、交換用のトナーカートリッジを用意してください。



トナーカートリッジが交換時期に達した場合

トナーカートリッジが交換時期に達すると、交換をうながすメッセージが表示されます。保守契約に従って、交換してください。[ガイダンススタート] をタップすると、交換手順を画面に表示して確認できます。



参照

bizhub C658/C558/C458 の場合：交換手順について詳しくは、「ユーザーズガイド [メンテナンス] / [消耗品を交換する]」をごらんください。

MFX-C3690N/C3090N/C2590N の場合：交換手順について詳しくは、「ユーザーズガイド [メンテナンス] / [消耗品を交換する]」をごらんください。

参考

- 表示された色以外のトナーカートリッジは交換しないでください。
- ブラック以外のトナーカートリッジが交換時期に達している場合は、ブラックで強制印刷できます。[継続操作] をタップして、印刷するジョブを選んでください。

ドラムユニットが交換時期に達した場合

ドラムユニットが交換時期に達すると、交換をうながすメッセージが表示されます。保守契約に従って、交換してください。[ガイダンススタート] をタップすると、交換手順を画面に表示して確認できます。



重要

ドラムユニットは、メッセージが表示されるまで交換しないでください。

参照

bizhub C658/C558/C458 の場合：交換手順について詳しくは、「ユーザーズガイド [メンテナンス] / [消耗品を交換する]」をごらんください。

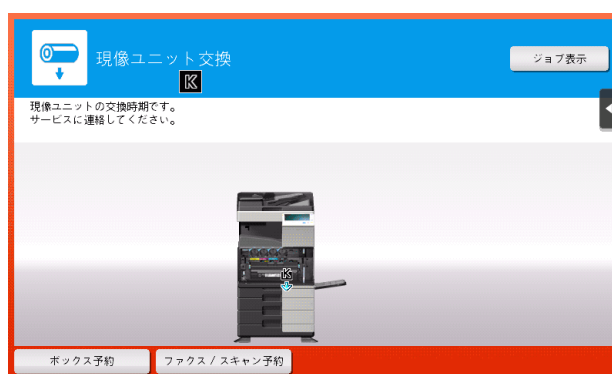
MFX-C3690N/C3090N/C2590N の場合：交換手順について詳しくは、「ユーザーズガイド [メンテナンス] / [消耗品を交換する]」をごらんください。

参考

- ドラムユニットについてのメッセージを表示するには、サービスエンジニアによる設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。
- 表示された色以外のドラムユニットは交換しないでください。
- ブラック以外のドラムユニットが交換時期に達している場合は、ブラックで強制印刷できます。[継続操作] をタップして、印刷するジョブを選んでください。

現像ユニットが交換時期に達した場合

現像ユニットが交換時期に達すると、サービス実施店へ連絡するようメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、サービス実施店にご連絡ください。



参考

- 現像ユニットについてのメッセージを表示するには、サービスエンジニアによる設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。
- ブラック以外の現像ユニットが交換時期に達している場合は、ブラックで強制印刷できます。[継続操作] をタップして、印刷するジョブを選んでください。

廃棄トナーボックスがいっぱいになった場合

廃棄トナーボックスがいっぱいになった場合は、交換をうながすメッセージが表示されます（ユーザー交換の場合）。[ガイダンススタート] をタップし、表示されるガイダンスに従って処理を行ってください。



参照

bizhub C658/C558/C458 の場合：交換手順について詳しくは、「ユーザーズガイド [メンテナンス] / [消耗品を交換する]」をごらんください。

MFX-C3690N/C3090N/C2590N の場合：交換手順について詳しくは、「ユーザーズガイド [メンテナンス] / [消耗品を交換する]」をごらんください。

お問い合わせ窓口

■ 製品の仕様・取扱方法やアフターサービスに関するご相談

インフォメーションセンター

0120-610-917

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えにならないようお願いいたします。

●受付時間 月～土曜日（日・祝日はお休みさせていただきます。）
平日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00

■ 消耗品のご注文・お問い合わせ

消耗品受付窓口

0120-176-109

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えにならないようお願いいたします。

●受付時間 月～土曜日（日・祝日はお休みさせていただきます。）
平日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00

ホームページ <http://www.muratec.jp/ce/>

●この取扱説明書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。